
教育活動

青森県立保健大学 平成19年度前期時間割 (1年前期)

時限 学年・学科	1 9:00～12:00	2 10:30～11:50	3 12:40～14:00	4 14:10～15:30	5 15:40～17:00	6 17:10～18:30		
月	看護		生物の基礎【A112】 【藤田(修),井澤,森永】 (4/9～5/28)	English ~ (4/9～7/9)	English ~ (4/9～7/9)	医療人類学【大関】 (5/7～6/25)【A111】		
	理学療法		生物の基礎【A112】 【藤田(修),井澤,森永】 (4/9～5/28)	English ~ (4/16、5/7～7/9)				
	社会福祉	社会学【吉村(治)】 (4/9～7/23)【B115】	生物の基礎【A112】 【藤田(修),井澤,森永】 (4/9～5/28)	English ~ (4/16、5/7～7/9)			社会福祉学概論【増山】 (4/9～7/23)【B115】	
火	看護	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/10)【A111】	English ~ (4/10～7/3)	人体構造機能学【尾崎・桜木】 (4/10～6/26)【A101】	人体構造機能学【尾崎・桜木】 (4/10～6/26)【A101】	情報とネットワーク看護 Bグループ【山田(真),熊谷】 (4/10～6/26)【A202】	English ~ (4/10～7/3)	
	理学療法		保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/10)【A111】				情報とネットワーク看護 Bグループ【山田(真),熊谷】 (4/10～6/26)【A202】	
	社会福祉			実践基礎看護技術 (準備) (7/17)	実践基礎看護技術 (7/17) 【A305】【角濱,藤本,木村,福井,佐藤(真),田中,山本(加)】	実践基礎看護技術 (7/17) 【A305】【角濱,藤本,木村,福井,佐藤(真),田中,山本(加)】	実践基礎看護技術 (後片付け) (7/17)	
水	看護	人間総合科学演習 (4/11～7/4) 【藤田:A107】【松江:C棟研修室2】 【ノールズ:A106】 【嵯峨井:C棟大学院会議室】 【佐藤:B109】 【千葉:B105】 【岩井:B112】 【浅田:B111】 【ヴェステイ:A103】 【山田:A110】 【川内:A105】 【カバナー:A102】 【井澤:B103】 【廣森:B104】	人間総合科学演習 (4/11～7/4) 【藤田:A107】 【松江:C棟研修室2】 【ノールズ:A106】 【嵯峨井:C棟大学院会議室】 【佐藤:B109】 【千葉:B105】 【岩井:B112】 【浅田:B111】 【ヴェステイ:A103】 【山田:A110】 【川内:A105】 【カバナー:A102】 【井澤:B103】 【廣森:B104】	English ~ (4/18、5/2～7/4) 成人看護援助論 【藤田,鳴井,石鍋,深谷,平尾,三浦,本間】 (5/7,6/26)【A305】	English ~ (4/11～6/27)	化学の補講【千葉,勸林,岩井】 【A111】 (4/25～6/27 5/30を除く)	化学の補講【千葉,勸林,岩井】 【A111】 (4/18) 化学の補講【千葉,勸林,岩井】 【A111】 (4/18)	
		保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/10)【A111】	在宅看護論【細川,三津谷】 (5/7)【A305】	社会福祉法制【大竹】 (4/10～7/10)【B115】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/24)【A111】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/24)【A111】	化学の補講【千葉,勸林,岩井】 【A111】 (4/25～6/27 5/30を除く)	
		リハビリテーション論【渡部】 【B110】 (4/10～7/3)	法学【大竹】 (4/10～7/3)【B115】		保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/24)【A111】	English ~ (4/10～7/17)		
	理学療法	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/10)【A111】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/10)【A111】	臨床評価実習 (5/7～5/28、6/11～7/2)	臨床評価実習 (5/7～5/28、6/11～7/2)	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/24)【A111】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (7/24)【A111】	
	社会福祉	社会福祉施設運営論【山内】 (4/9～7/23)【B117】	カウンセリング論【安田】 (4/9～7/23)【B117】	コミュニティソーシャルワーク論【渡邊】 (4/9～7/23)【B117】	医療福祉論【杉山】 (4/9～7/23)【B117】	生活と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】 (7/23)【A112】	生活と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】 (7/23)【A112】	
	看護	人体構造機能学【成田】 (4/12～6/28)【A101】	人体構造機能学【成田】 (4/12～6/28)【A101】	実践基礎看護技術 (準備) (4/12～7/5)	実践基礎看護技術 【角濱,藤本,木村,福井,佐藤(真),田中,山本(加)】 (4/12～7/5)【A305】	実践基礎看護技術 【角濱,藤本,木村,福井,佐藤(真),田中,山本(加)】 (4/12～7/5)【A305】	実践基礎看護技術 (後片付け) (4/12～7/5)	
理学療法	解剖学【鈴木(孝)】 (4/12～7/5、7/19、7/26)【B307】		情報とネットワーク 【山田(真),熊谷】 (4/12～7/5)【A202】	情報とネットワーク 【山田(真),熊谷】 (4/12～7/5)【A202】	English ~ (4/12～7/5)	理学療法原論【盛田】 (4/12～7/5、7/19、7/26) 4/12、4/19は【A202】他は【B109】		
社会福祉	生活問題論【藤島】 (4/12～7/5)【B115】		情報とネットワーク【山田(真),熊谷】 (4/12～7/5)【A202】	情報とネットワーク【山田(真),熊谷】 (4/12～7/5)【A202】	English ~ (4/12～7/5)	地域福祉論【渡邊】 (4/12～7/5、7/19)【B115】		
金	看護	情報とネットワーク看護 Aグループ【山田(真),熊谷】 (4/13～7/6)【A202】	情報とネットワーク看護 Aグループ【山田(真),熊谷】 (4/13～7/6)【A202】	看護学概論【大串,藤本,木村,田中山本(加)】 (4/20～7/6)【A112】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (4/20～6/8)【A111】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (4/20～6/8)【A111】	English ~ (4/20～7/6)	
			English ~ (4/13～7/6)	履修ガイダンス・人間総合ゼミナール(4/6)	看護学概論【大串,藤本,木村,田中山本(加)】 (6/15、6/22)【A112】	履修ガイダンス・人間総合ゼミナール(4/6)		
	理学療法	解剖学【鈴木(孝)】 (4/13～7/6、7/20)【B307】		English ~ (4/20～7/6)	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (4/20～6/8)【A111】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (4/20～6/8)【A111】		
	社会福祉		社会福祉援助技術論【大和田】 (4/13～7/6)【B115】	English ~ (4/20～7/6)	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (4/20～6/8)【A111】	保健福祉概論【山本(春),勸林,杉山】 (4/20～6/8)【A111】		
土	看護							
	理学療法							
	社会福祉							

：必修科目， ：選択科目， ：助産学コース， ：精神保健福祉士指定科目

<学外実習>

看護学科	看護体験実習(7/18～7/23)
3学科	保健福祉概論 学外実習(7/11～7/13)

<学内イベントなど>

健康診断	4/6	・ 時限	3学科1年生対象
------	-----	------	----------

<その他授業科目>

3学科	保健医療福祉特殊講義 (6/2、6/16、6/30、7/14、7/28)
人間総合科学科目	English Communication【イギリス】(8/17～9/9)

<集中講義予定>

看護学科	バイオエシックス【三浦】 (9/18(火)～時限、9/20(木)～時限)【A112】
------	--

青森県立保健大学 平成 19 年度授業時間割 (1 年後期)

時限 曜日・学科		1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:10~18:30
月	看護	手話【浅利】(10/1、10/22、11/5~1/28)【A111】	手話【浅利】(10/1、10/22、11/5~1/28)【A111】	精神健康論【藤井、清水】(10/1、10/22~11/19)【A111】	精神健康論【藤井、清水】(10/1)【A111】	実践基礎看護技術【藤本、角濱、木村、福井、佐藤(真)、田中】(11/26~1/28)【A305】	実践基礎看護技術(後片付け)(11/26~1/28)
		ロシア事情と言語【トストゲ-ツフ】(10/1、10/22~1/21)【A110】	ロシア事情と言語【トストゲ-ツフ】(10/1、10/22~1/21)【A110】	実践基礎看護技術(準備)(11/26~1/28)	実践基礎看護技術【藤本、角濱、木村、福井、佐藤(真)、田中】(11/26~1/28)【A305】		
	理学療法	手話【浅利】(10/1、10/22、11/5~1/28)【A111】	手話【浅利】(10/1、10/22、11/5~1/28)【A111】	筋・骨格系解剖学実習(準備)(10/1、10/22~1/28)	運動器解剖学【鈴木(孝)、李】(10/1、10/22~1/28)【B307】	筋・骨格系解剖学実習【鈴木(孝)、李】(10/1、10/22~1/28)【B307】	筋・骨格系解剖学実習(後片付け)(10/1、10/22~1/28)
		ロシア事情と言語【トストゲ-ツフ】(10/1、10/22~1/21)【A110】	ロシア事情と言語【トストゲ-ツフ】(10/1、10/22~1/21)【A110】				
	社会福祉	手話【浅利】(10/1、10/22、11/5~1/28)【A111】	手話【浅利】(10/1、10/22、11/5~1/28)【A111】	介護福祉論【工藤久】(10/1~1/28 11/12を除く)【B115】	心理学【入江】(10/1~1/21 11/12を除く)【B115】	地域福祉論【渡邊】(10/1~1/21)【B115】	社会福祉学概論【増山】(10/15~1/28)【B115】
		ロシア事情と言語【トストゲ-ツフ】(10/1、10/22~1/21)【A110】	ロシア事情と言語【トストゲ-ツフ】(10/1、10/22~1/21)【A110】				
火	看護		English ~ (10/2、10/23~1/29)	コブ リンクリ-セビ- 【角濱】(1/22)【A110】	社会の動態と生活形態【佐藤(正)、廣森】(10/2、10/23~1/15)【A112】	English ~ (10/2、10/23~1/15)	法律と生活【大竹】(10/2、10/23~1/15)【A111】
	理学療法	English ~ (10/2、10/9、10/23~1/8)	運動生理学【岩月、山下】(10/2、10/9、10/23~11/20)【B112、B301】	基礎運動療法【川口】(10/2、10/9、10/23~1/15)【B308】	社会の動態と生活形態【佐藤(正)、廣森】(10/2、10/23~1/15)【A112】	一般臨床医学【吉村(教)】(10/2、10/9、10/23~1/15)【B109】	法律と生活【大竹】(10/2、10/23~1/15)【A111】
	社会福祉	English ~ (10/2、10/9、10/23~1/8)	家族社会学【佐藤(恵)】(10/2~1/15)【B115】	社会福祉基礎演習(10/2~1/15)【入江B111】(佐藤(恵)B107)【千葉B105】(杉山B115)【石田B206】	社会の動態と生活形態【佐藤(正)、廣森】(10/2、10/23~1/15)【A112】	社会心理学【入江】(10/2~1/8)【B115】	法律と生活【大竹】(10/2、10/23~1/15)【A111】
水	看護	教育と人間【浅田、廣森】(10/3、10/24~1/16)【A101】	生態系と生活【佐藤伸、藤田均】(10/3、10/24~1/16)【A112】	青森の風土と生活【昆】(10/3、10/24~1/16)【A111】	看護理論【大串、藤本】(11/28~1/16)【A305】	看護理論(事後学習)(11/28~1/16)	English ~ (10/3、10/24~1/16)
		コブ リンクリ-セビ- 【角濱、平松、加藤】(1/23)【A110】	コブ リンクリ-セビ- 【角濱、平松、加藤】(1/23、1/30)【A110】	コブ リンクリ-セビ- 【角濱、平松、加藤】(1/23、1/30)【A110】	コブ リンクリ-セビ- 【角濱、平松、加藤】(1/23、1/30)【A110】	看護理論【大串、藤本】(1/23)【A305】	看護理論(事後学習)(1/23)
	理学療法	教育と人間【浅田、廣森】(10/3、10/24~1/16)【A101】	生態系と生活【佐藤伸、藤田均】(10/3、10/24~1/16)【A112】	青森の風土と生活【昆】(10/3、10/24~1/16)【A111】	運動学【岩月】(10/3、10/10、10/24~11/21)【B310】	運動学演習【岩月、李】(10/3、10/10、10/24~1/23)【B310】	運動学演習(後片付け)(10/3、10/10、10/24~1/23)
	社会福祉	教育と人間【浅田、廣森】(10/3、10/24~1/16)【A101】	生態系と生活【佐藤伸、藤田均】(10/3、10/24~1/16)【A112】	青森の風土と生活【昆】(10/3、10/24~1/16)【A111】			
木	看護	カウンセリング概論【入江B109、安田B110】(10/25~12/6)【A101】	人格形成と生活行動【渡部論】(10/25~1/24)【A111】	中国事情と言語【許、黄】(10/25~1/24)【B115】	中国事情と言語【許、黄】(10/25~1/24)【B115】	看護過程【木村、福井】(11/29~1/24)【A305】	生態系と生活【佐藤伸】(1/24)【A111】
		教育と人間【浅田、廣森】(1/24)【A101】					
	理学療法	カウンセリング概論【入江B109、安田B110】(10/25~12/6)【A101】	人格形成と生活行動【渡部論】(10/25~1/24)【A111】	中国事情と言語【許、黄】(10/25~1/24)【B115】	中国事情と言語【許、黄】(10/25~1/24)【B115】	内科学【尾崎】(10/4、10/11、10/25~1/17)【B112】	English ~ (10/4、10/11、10/25~1/10)
	社会福祉	生活問題論【石田】(10/4~12/20)【B115】	人格形成と生活行動【渡部論】(10/25~1/24)【A111】	中国事情と言語【許、黄】(10/25~1/24)【B115】	中国事情と言語【許、黄】(10/25~1/24)【B115】		生態系と生活【佐藤伸】(1/24)【A111】
金	看護	韓国事情と言語【丁】(10/5、10/26~1/25)【B109】	韓国事情と言語【丁】(10/5、10/26~1/25)【B109】	English ~ (11/2~1/11、1/25)	保健概論【竹森(幸)】(11/16~1/25 1/18を除く)【A101】	性とセクシュアリティ【大井、大関、中村(由)】(11/2~12/21)【A111】	
	理学療法	韓国事情と言語【丁】(10/5、10/26~1/25)【B109】	韓国事情と言語【丁】(10/5、10/26~1/25)【B109】	人間発達学【川口、廣森】(10/12、11/2~1/11)【B109】	人間発達学【川口、廣森】(10/12、11/2、11/9)【B109】	栄養学【岩井】(10/12、11/2~1/11 11/30を除く)【B109】	
	社会福祉	韓国事情と言語【丁】(10/5、10/26~1/25)【B109】	韓国事情と言語【丁】(10/5、10/26~1/25)【B109】	社会福祉援助技術論【大和田】(10/12~1/25、12/14・1/18を除く)【B115】	社会福祉援助技術論【大和田】(10/12、11/2)【B115】	民法【竹内】(10/19、10/26、11/9)【B115】	民法【竹内】(10/19、11/9)【B115】
土	看護						
	理学療法						
	社会福祉			民法【竹内】(10/20【B115】、11/24【A112】)	民法【竹内】(10/20【B115】、11/24【A112】)		

< 学外実習 >

看護学科	看護体験実習 (10/26 ~ 時限 理学療法学科1年・社会福祉学科2年と合同の実習報告会)【A101】 基礎看護実習 (10/4、10/9、10/10、10/11、10/12、10/15、10/16、10/17、10/18、10/19)【10/4、10/19はA305】
理学療法学科	臨床基礎実習 (10/15~10/19、10/26 ~ 時限は看護学科1年・社会福祉学科2年と合同の実習報告会)【A101】

上記、実習実施日は1時限~6時限まで通常授業は実施しない。

< その他授業科目 >

人間総合科学科目	English Communication【オーストラリア】(2/22~3/16)
----------	---

< 学内イベントなど >

3 学科	大学祭 10/5~10/8
------	---------------

10/5 午後~10/8 は基本的に通常授業は実施しない。

< 集中講義予定 >

看護学科	コブ リンクリ-セビ- 【木村、小板橋、河内】 (2/13 ~ 時限、2/14 ~ 時限、2/15 ~ 時限) 【フィジカルイグザミネーションルーム】
------	---

青森県立保健大学 平成19年度前期時間割 (2年前期)

時限 学年・学科	1 9:00～12:00	2 10:30～11:50	3 12:40～14:00	4 14:10～15:30	5 15:40～17:00	6 17:10～18:30
月	看護	病理病態学【吉村(教)】 (4/16～7/23)【A111】	科学技術と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】(4/16～6/18,7/2～7/23)【A112】			精神疾病治療論【田崎】 (4/16～7/23)【A101】
	理学療法	病理病態学【吉村(教)】 (4/16～7/23)【A111】	科学技術と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】(4/16～6/18,7/2～7/23)【A112】	理学療法評価学実習【佐藤秀一】(4/16～7/23)【B308】		精神医学【田崎】(4/16～7/23)【A101】
	社会福祉	生涯発達心理学【安田】 【B116】(4/16～6/18,7/2～7/23)	社会福祉援助技術論【渡邊】(4/16～6/18,7/2～7/23)【B116】	精神保健福祉援助技術総論【石田】(4/16～6/18,7/2～7/23)【B116】	精神保健学【大山】(4/16～6/18,7/2～7/23)【B116】	行政法【大竹】(4/16～6/18,7/2～7/23)【B116】
火	看護	国際関係と日本【林】 (4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3)【B109】	国際関係と日本【林】 (4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3)【B109】	生命基礎科学【松江:B109】 【嵯峨井:A110】 【佐藤伸・岩井:B110】 (4/10～5/22)	看護過程演習【木村,福井】 (4/10～5/22)【A305 5/1のみA112】	看護過程演習【木村,福井】 (4/17～5/22)【A305 5/1のみA112】
	理学療法	国際関係と日本【林】 【B109】(4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3,7/17)	国際関係と日本【林】 【B109】(4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3)	実践基礎看護技術【藤本,福井,佐藤(真),田中】(5/29～7/10)【A305】	実践基礎看護技術【藤本,福井,佐藤(真),田中】(5/29～7/10)【A305】	実践基礎看護技術(後片付け) (5/29～7/10)
	社会福祉	国際関係と日本【林】 (4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3,7/17)【B109】	国際関係と日本【林】 (4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3)【B109】	物理療法学【勸林,小田桐】 (4/10～7/10)【B310】	理学療法評価学実習【佐藤秀一】(7/10,7/17)【B308】	理学療法評価学実習【佐藤秀一】(7/10,7/17)【B308】
水	看護	老年学【渡部】 (4/11～7/4)【A111】	生活と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】(4/10～5/22,6/26)【A112】	疫学と保健統計【竹森(幸)】 (4/10～5/22,6/26)【A111】	小児疾病治療論【安保】 (4/10～4/24)【A111】	生活と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】 (7/17)【A112】
	理学療法	個人と組織【丁】 【B117】(4/10～5/22,6/26,7/17,7/24)	生活と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】(4/10～5/22,6/26)【A112】	疫学と保健統計【竹森(幸)】 (4/10～5/22,6/26)【A111】	小児疾病治療論【安保】 (4/10～4/24)【A111】	生活と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】(7/17)【A112】
	社会福祉	国際関係と日本【林】 (4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3,7/17)【B109】	国際関係と日本【林】 (4/10,4/24,5/8,5/22,6/5,6/19,7/3)【B109】	社会福祉援助技術現場実習指導【入江:B111】 【佐藤伸:B107】 【千葉:B105】 【杉山:B206】 【石田:B116】(5/8～7/3 5/22は除く)	社会福祉援助技術現場実習指導【入江:B111】 【佐藤伸:B107】 【千葉:B105】 【杉山:B206】 【石田:B116】(5/8～7/3 5/22は除く)	臨床心理学【入江】 【B116】(4/10～6/19,7/3,7/10)
木	看護	健康教育論 Aグループ【山本(春),山田(典),細川,三津谷】 (4/12～5/31,4/12・5/31はAB合同)【A112】	健康教育論 Bグループ【山本(春),山田(典),細川,三津谷】 (4/12～5/31,4/12・5/31はAB合同)【A112】	人間関係とコミュニケーション(看護 Aグループ)【川内】 (4/12～7/12)【A110】	人間関係とコミュニケーション(看護 Bグループ)【川内】 (4/12～7/12)【A110】	栄養代謝学【藤田(修),駒田,森永】 (4/12～5/31)【A101】
	理学療法	運動学実習【李,岩月】 (4/12～7/19)【B301・B308】		解剖学総合実習(準備) (4/12～7/19)	解剖学総合実習【鈴木(孝)】 (4/12～7/19)【B307】	解剖学総合実習【鈴木(孝)】 (4/12～7/19)【B307】
	社会福祉	国際ボランティア論【千葉】 (4/12～6/21,7/5～7/19)【B116】	社会福祉援助技術演習【大和田,加賀谷:B116】 【齋藤:B114】(4/12～6/21,7/5～7/19)	児童福祉論【齋藤】 (4/12～6/21,7/5,7/12)【B116】	障害者福祉論【山内,長谷川】 (4/12～6/21,7/5～7/19)【B116】	
金	看護	健康教育論 Aグループ【山本(春),山田(典),細川,三津谷】 (4/13～6/1,6/1はAB合同)【A112】	健康教育論 Bグループ【山本(春),山田(典),細川,三津谷】 (4/13～6/1,6/1はAB合同)【A112】	人間発達援助論【中村(由),大関,深谷,坂本】 (4/13～6/1)【A305】	人間発達援助論【中村(由),大関,深谷,坂本】 (4/13～6/1)【A305】	経過別看護援助論(6/1)【A305】
	理学療法	経過別看護援助論【石鍋,鳴井,藤田(あ),平尾,井澤】 (6/15～7/13)【A305】	経過別看護援助論【石鍋,鳴井,藤田(あ),平尾,井澤】 (6/8～7/13)【A305】	リハビリテーション概論【藤田(智),桜木】 (6/8～6/29)【B110】	リハビリテーション概論【藤田(智),桜木】 (6/8～6/29)【B110】	科学技術と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】 (7/20)【A112】
	社会福祉	老人福祉論【大和田】 【B116】(4/13～6/22,7/6～7/20)	レクリエーション活動援助法【福士】 (4/13～6/22,7/6～7/20 5/25を除く)【B116】	社会福祉援助技術現場実習指導【入江:B111】 【佐藤伸:B107】 【千葉:B105】 【杉山:B206】 【石田:B116】(7/6)	社会福祉援助技術現場実習指導【入江:B111】 【佐藤伸:B107】 【千葉:B105】 【杉山:B206】 【石田:B116】(7/6)	科学技術と環境【嵯峨井,佐藤伸,井澤】 (7/20)【A112】
土	看護	経済と生活【泉谷】 (4/14,4/28～7/14)【A110】	経済と生活【泉谷】 (4/14,4/28～7/14)【A110】			
	理学療法	経済と生活【泉谷】 (4/14,4/28～7/14)【A110】	経済と生活【泉谷】 (4/14,4/28～7/14)【A110】			
	社会福祉	経済と生活【泉谷】 (4/14,4/28～7/14)【A110】	経済と生活【泉谷】 (4/14,4/28～7/14)【A110】			

：必修科目， ：選択科目， ：助産学コース， ：精神保健福祉士指定科目
<学外実習>

社会福祉学科	社会福祉援助技術現場実習指導 (6/25～6/29の期間)
<その他授業科目>	
3学科	保健医療福祉特殊講義(6/2,6/16,6/30,7/14,7/28)
人間総合科学科目	English Communication【イギリス】(8/17～9/9)
<学内イベントなど>	
健康診断	4/9 ・ 時限 3学科2年生対象
<集中講義予定>	
人間総合科学科目	健康と運動キャンプ【高橋・棟方】(9/15(土)ガイダンス,9/21(金),9/22(土))
社会福祉学科	介護技術論【工藤久】(9/18(火)～時限,9/19(水)～時限,9/20(木)～時限)【暫定】【B116】

青森県立保健大学 平成 19 年度授業時間割 (2 年後期)

時限 曜日・学科		1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:10~18:30
月	看護	English (10/1~10/22, 11/12~1/28)	English (10/1~11/5, 11/26~1/28)	家族援助論 【山本(春)、中村(由)、山田(典)】 【A112】 (10/1~10/22, 11/26~12/17)	家族援助論 【山本(春)、中村(由)、山田(典)】 【A112】 (10/1~10/22, 11/26~12/17)	近代科学と思考の論理【山本】 (10/1~10/22, 11/26~1/28) 【A110】	近代科学と思考の論理【山本】 (10/15, 10/22) 【A110】
	理学療法	健康論【藤田(修)、森永】 (10/1~11/19) 【B113】	義肢装具学【三浦】 (10/1~1/21) 【B207】	運動器障害理学療法実習 【三浦】 (10/1~1/28) 【B308】	運動器障害理学療法実習 【三浦】 (10/1~1/28) 【B308】	近代科学と思考の論理【山本】 (10/1~10/22, 11/26~1/28) 【A110】	近代科学と思考の論理【山本】 (10/15, 10/22) 【A110】
	社会福祉			公的扶助論【増山】 (10/15~1/28 11/12を除く) 【B116】		近代科学と思考の論理【山本】 (10/1~10/22, 11/26~1/28) 【A110】	近代科学と思考の論理【山本】 (10/15, 10/22) 【A110】
火	看護	健康と運動【高橋、榎方】 (10/2, 10/9)	健康と運動【高橋、榎方】 (10/2~10/23, 11/27~1/22 1/8を除く)	老年看護援助論 【吹田、坂本、大津】 (10/2~10/23, 11/27、 12/18~1/22) 【A111】	老年看護援助論 【吹田、坂本、大津】 (10/2~10/23, 11/27、 12/18~1/22) 【A111】	老年看護援助論【吹田、坂本】 (10/2, 10/9, 1/15) 【A111】	科学と創造【浅田、岩井】 (1/22)
	理学療法	健康と運動【高橋、榎方】 (10/2, 10/9)	健康と運動【高橋、榎方】 (10/2~10/23, 11/27~1/22 1/8を除く)	物理療法実習【勸林】 (10/2~1/8) 【B310】		理学療法研究方法論 【李、佐藤秀紀】 (10/2~1/15) 【B308】	整形外科学 【伊藤、小松、長沼、秋田】 (10/2~1/8) 【B113】
	社会福祉	健康と運動【高橋、榎方】 (10/2, 10/9)	健康と運動【高橋、榎方】 (10/2~10/23, 11/27~1/22 1/8を除く)	社会法【大竹】 (10/2~1/15) 【B116】	生涯発達心理学【安田】 (10/2~1/15) 【B116】	社会福祉援助技術演習 【大和田、加賀谷B116】 【増山B105】 【藤藤B114】 (10/2~1/15)	精神保健学【大山】 (10/2~1/15) 【B116】
水	看護	English (10/3~11/7, 11/28~1/16)	小児看護援助論 【中村(由)、赤羽、杉本】 (10/3~10/24, 11/28~12/19) 【10/24まではA111,11/28以降は A305】	薬理学【照井】 (10/3~10/24, 11/28~12/12) 【A101】	成人看護援助論 【嶋井、石鍋、深谷、藤田、平尾、井澤、本 間、其田】(10/3~10/24) 【A305】 母性看護援助論【佐藤(愛)、大関】 (11/28~12/12) 【A112】	成人看護援助論 【嶋井、石鍋、深谷、藤田、平尾、井澤、本 間、其田】(10/3~10/24) 【A305】 母性看護援助論【佐藤(愛)、大関】 (11/28~12/12) 【A112】	科学と創造【岩井、浅田】 (1/23)
	理学療法	科学と創造【岩井、浅田】 (1/23)	科学と創造【岩井、浅田】 (1/23)	科学と創造【岩井、浅田】 (12/19~1/23) 【B109】	科学と創造【岩井、浅田】 (1/9~1/23) 【B109】	救急医学概論 【長尾、志賀、齋藤(兄)】 (1/9~1/30) 【A111】	救急医学概論 【長尾、志賀、齋藤(兄)】 (1/9~1/30) 【A111】
	社会福祉	社会福祉援助技術論【渡邊】 (10/3~1/16) 【B116】	障害者福祉論【山内、長谷川】 (10/3~1/16) 【B116】	科学と創造【岩井、浅田】 (12/19~1/23) 【B109】	English (10/3~12/19)	人間関係とコミュニケーション【川内】 (10/3~1/9) 【B115】	科学と創造【岩井、浅田】 (10/3~10/24, 11/28~12/12) 【B109】
木	看護		人間工学【高橋】 (10/4~10/25) 【B109】	母性看護援助論【佐藤(愛)、大関】 (10/4~10/25) 【A112】	母性看護援助論【佐藤(愛)、大関】 (10/4~10/25) 【A112】	English (10/4~10/25, 11/15~1/17)	
	理学療法		調査と科学的方法【山田(真)、浅田】 (11/29~1/24) 【A101】	臨床薬理学【菅原】 (11/29~12/20) 【A101】	臨床薬理学【菅原】 (11/29~12/20) 【A101】	理学療法評価学演習 【佐藤秀一、盛田、橋本】 (10/4~1/17) 【B308】	
	社会福祉	地方自治論【山内】 (10/4~1/17 10/11を除く) 【B116】	調査と科学的方法【山田(真)、浅田】 (11/29~1/24) 【A101】	English (10/4~12/20)	ケアマネジメント原論【大和田】 (10/4~1/17, 10/11を除く) 【B116】	児童福祉論【齋藤】 (10/4~1/10) 【B116】	精神保健福祉援助技術総論 【石田】 (10/4~1/10) 【B116】
金	看護	精神看護援助論【藤井、清水】 (10/5~10/26, 11/30~1/25) 【A111】	精神看護援助論【藤井、清水】 (10/5~10/26, 11/30~1/25) 【A111】	成人看護援助論 【嶋井、石鍋、深谷、藤田、平尾、井澤、本 間、其田】 【A305 10/9のみ A112】 (10/12~10/26, 11/30~1/11、 1/25)	成人看護援助論 【嶋井、石鍋、深谷、藤田、平尾、井澤、本 間、其田】 【A305 10/19のみ A112】 (10/12~10/26, 11/30~1/11、 1/25)	小児看護援助論 【中村(由)、赤羽、杉本】 (10/12~10/26、11/30~ 12/21) 【10/26まではA111、11/30以降 はA305】	
	理学療法	人間関係とコミュニケーション 【川内】 (10/5~1/18) 【B112】	生活活動分析学【藤田(智)、長門】 (10/5~1/25) 【B309】	神経障害理学療法実習 【榎木、山下、藤田(智)】 (10/12~1/11, 1/25) 【B113】	神経障害理学療法実習 【榎木、山下、藤田(智)、橋本】 (10/12~1/11, 1/25) 【B308】	神経障害理学療法実習 【榎木、山下、藤田(智)、橋本】 (10/12) 【B308】	
	社会福祉	臨床心理学【入江】 (10/5~1/25 12/14を除く) 【B116】	老人福祉論【大和田】 (10/5~1/25 12/14を除く) 【B116】	女性福祉論【佐藤(恵)】 (10/12~1/25 10/26、 12/14、1/18を除く) 【B116】	女性福祉論【佐藤(恵)】 (1/11, 1/25) 【B116】	地域社会学【吉村(治)】 (11/16, 11/30, 12/7, 12/14) 【B116】	社会福祉援助技術現場実習指導 (10/12, 10/19, 11/2, 11/9) 【入江B111】 【佐藤B107】 【千葉B105】 【杉山B116】 【石田B206】
土	看護			システム論と思考の論理 【佐藤(和)】 (10/27, 11/10, 11/24, 12/8、 12/22, 1/12, 1/26) 【A107】	システム論と思考の論理 【佐藤(和)】 (10/27, 11/10, 11/24, 12/8、 12/22, 1/12, 1/26) 【A107】	人間工学【畠中】 (12/15) 【B109】	
	理学療法			システム論と思考の論理【佐藤(和)】 (10/27, 11/10, 11/24, 12/8, 12/22、 1/12, 1/26) 【A107】	システム論と思考の論理【佐藤(和)】 (10/27, 11/10, 11/24, 12/8, 12/22、 1/12, 1/26) 【A107】	人間工学【畠中】 (12/15) 【B109】	
	社会福祉			システム論と思考の論理【佐藤(和)】 (10/27, 11/10, 11/24, 12/8, 12/22、 1/12, 1/26) 【A107】	システム論と思考の論理【佐藤(和)】 (10/27, 11/10, 11/24, 12/8, 12/22、 1/12, 1/26) 【A107】		

< 学外実習 >

看護学科	基礎看護実習 Aグループ(10/29~11/2, 11/5~11/9)	Bグループ(11/12~11/16, 11/19~11/22)
社会福祉学科	社会福祉援助技術現場実習指導 (10/26 ~ 時限 看護学科1年・理学療法学科1年と合同の実習報告会) 【A101】	

上記、実習実施日は1時限~6時限まで通常授業は実施しない。

< その他授業科目 >

人間総合科学科目	English Communication【オーストラリア】(2/22~3/16)
----------	---

< 学内イベントなど >

3学科	大学祭 10/5~10/8
-----	---------------

10/5午後~10/8は基本的に通常授業は実施しない。

< 集中講義予定 >

人間総合科学科目	健康と運動スキー【高橋、榎方】(2/12, 2/13, 2/14) キャンプは前期実施済 科学と創造【岩井、浅田】(2/15 ~ 時限、2/16 ~ 時限)
----------	---

青森県立保健大学 平成 19 年度前期時間割 (3 年前期)

時限 学年・学科	1 9:00～12:00	2 10:30～11:50	3 12:40～14:00	4 14:10～15:30	5 15:40～17:00	6 17:10～18:30		
月	看護	成人看護援助論【藤田、鳴井、石鍋、深谷、平尾、三浦、本間】(4/9～4/23,5/14,5/21)【A305】 在宅看護論【細川、三津谷】(5/7)【A305】	成人看護援助論【藤田、鳴井、石鍋、深谷、平尾、三浦、本間】(4/9～4/23,5/14,5/21)【A305】 在宅看護論【細川、三津谷】(5/7)【A305】	在宅看護論【細川、三津谷】(4/9～5/21 5/7 を除く)【A305】 成人看護援助論【藤田、鳴井、石鍋、深谷、平尾、三浦、本間】(5/7,6/25)【A305】	在宅看護論【細川、三津谷】(4/9～5/21 5/7 を除く)【A305】 成人看護援助論【藤田、鳴井、石鍋、深谷、平尾、三浦、本間】(5/7,6/25)【A305】	小児疾病治療論【榎方】(4/16、4/23)【A111】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/23)【A112】 成人看護援助論【藤田、鳴井、石鍋、深谷、平尾、三浦、本間】(5/7,6/25)【A305】	小児疾病治療論【榎方】(4/23)【A111】	
	理学療法	理学療法演習【佐藤秀紀、鈴木、吉村、成田、尾崎、渡部、岩月、川口、勘林、佐藤秀一、藤田(智)、山下、三浦、桜木、盛田、李】(4/9～7/23)	臨床運動学【岩月】(4/9、4/16)【B308】	義肢装具学実習【三浦】(4/9～4/23、7/9)【B207】 臨床評価実習(5/7～5/28、6/11～7/2)	義肢装具学実習【三浦】(4/9～4/23、7/9)【B207】 臨床評価実習(5/7～5/28、6/11～7/2)	義肢装具学実習【三浦】(4/9、7/9)【B207】 小児疾病治療論【榎方】(4/16、4/23)【A111】 臨床評価実習(5/7～5/28、6/11～7/2) 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/23)【A112】	義肢装具学実習(後片付け)(7/9) 小児疾病治療論【榎方】(4/23)【A111】 臨床評価実習(5/7～5/28、6/11～7/2)	
	社会福祉	社会福祉施設運営論【山内】(4/9～7/23)【B117】	カウンセリング論【安田】(4/9～7/23)【B117】	コミュニティソーシャルワーク論【渡邊】(4/9～7/23)【B117】	医療福祉論【杉山】(4/9～7/23)【B117】	生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/23)【A112】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/23)【A112】		
火	看護	個人と組織【丁】【B117】(4/10～5/22、6/26、7/17、7/24)	生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(4/10～5/22、6/26)【A112】 個人と組織【丁】(7/17、7/24)【B117】	疫学と保健統計【竹森(幸)】(4/10～5/22、6/26)【A111】 人間と美術【富田】(7/24)	小児疾病治療論【安保】(4/10～4/24)【A111】 疫学と保健統計【竹森(幸)】(5/1～5/22、6/26)【A111】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/17)【A112】 人間と美術【富田】(7/24)	生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/17)【A112】 人間と美術【富田】(7/24)	人間と美術【富田】(7/24)【暫定】	
	理学療法	個人と組織【丁】【B117】(4/10～5/22、6/26、7/17、7/24)	生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(4/10～5/22、6/26)【A112】 個人と組織【丁】(7/17、7/24)【B117】	疫学と保健統計【竹森(幸)】(4/10～5/22、6/26)【A111】 人間と美術【富田】(7/24)	小児疾病治療論【安保】(4/10～4/24)【A111】 疫学と保健統計【竹森(幸)】(5/1～5/22、6/26)【A111】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/17)【A112】 人間と美術【富田】(7/24)	生活環境学【藤田(智)、盛田、橋本】(4/10～7/10)【B309】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/17)【A112】 人間と美術【富田】(7/24)	人間と美術【富田】(7/24)	
	社会福祉	個人と組織【丁】【B117】(4/10～5/22、6/26、7/17、7/24)	生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(4/10～5/22、6/26)【A112】 個人と組織【丁】(7/17、7/24)【B117】	社会福祉援助技術演習(4/10～7/10)【大和田、加賀谷、B113】【増山、B117】【齋藤、B114】 人間と美術【富田】(7/24)	社会保障論【増山】(4/10～7/10)【B117】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/17)【A112】 人間と美術【富田】(7/24)	精神医学【大山】(4/10～7/10)【B117】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/17)【A112】	医学概論【大山】(5/29、6/12、7/3)【B117】	人間と美術【富田】(7/24)
水	看護	母性看護援助論【佐藤愛、行方】(4/11～5/23、6/27)【A305】	母性看護援助論【佐藤愛、行方】(4/11～5/23、6/27)【A305】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/18)【A112】 人間と美術【富田】(7/25)	小児疾病治療論【立花、中田】(5/9、5/16、5/23、6/27)【A111】 人間と演劇【長谷川】(5/2、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	人間と演劇【長谷川】(4/11～5/23、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	人間と文学【井上】(4/11～5/16)【A112】 人間と演劇【長谷川】(5/23、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	人間と文学【井上】(4/11～5/23、6/27)【A112】	
	理学療法	生活活動分析学実習【藤田(智)、橋本】(4/11～7/11)【B309】	生活活動分析学実習【藤田(智)、橋本】(4/11～7/11)【B309】 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/18)【A112】 人間と美術【富田】(7/25)	ターミナルケア理学療法論【渡部、馬場、長門】(4/11～4/25、5/30～6/20)【B114】 小児疾病治療論【立花、中田】(5/9、5/16、5/23、6/27)【A111】 人間と演劇【長谷川】(5/2、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	発達障害理学療法論【川口、長門】(5/30～7/11)【B114】 人間と演劇【長谷川】(4/11～5/23、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	発達障害理学療法論【川口、長門】(5/30～7/11)【B114】 人間と文学【井上】(4/11～5/16)【A112】	人間と文学【井上】(4/11～5/23、6/27)【A112】	
	社会福祉	精神保健福祉論【坂下、大山、長谷川】(4/11～6/27、7/11)【B117】 社会福祉援助技術現場実習指導【全体:B117】【大和田:B107】【増山:B101】【渡邊:B114】【山内:B106】【齋藤:B102】【加賀谷】【長谷川】(7/4)	精神保健福祉論【坂下、大山、長谷川】(4/11～6/27、7/11)【B117】 社会福祉援助技術現場実習指導【全体:B117】【大和田:B107】【増山:B101】【渡邊:B114】【山内:B106】【齋藤:B102】【加賀谷】【長谷川】(4/11、4/25、5/9、5/23、6/6、6/20、7/4) 生活と環境【嵯峨井、佐藤伸、井澤】(7/18)【A112】 人間と美術【富田】(7/25)	人間と演劇【長谷川】(5/2、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	人間と演劇【長谷川】(4/11～5/23、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	人間と文学【井上】(4/11～5/16)【A112】 人間と演劇【長谷川】(5/23、7/18)【B117】 人間と美術【富田】(7/25)	人間と文学【井上】(4/11～5/23、6/27)【A112】	人間と文学【井上】(4/11～5/23、6/27)【A112】
木	看護	成人看護援助論【藤田、鳴井、石鍋、深谷、平尾、三浦、本間】(4/12～5/17)【A305】	成人看護援助論【藤田、鳴井、石鍋、深谷、平尾、三浦、本間】(4/12～5/24)【A305】 人間と美術【富田】(7/26)	小児疾病治療論【高山】(4/19、4/26)【A111】 人間と美術【富田】(7/26)	認知症高齢者ケア【吹田、坂本、對馬】(4/12～5/24)【A111】 人間と美術【富田】(7/26)	認知症高齢者ケア【吹田、坂本、對馬】(4/12～5/24)【A111】 人間と美術【富田】(7/26)	母性疾病治療論【佐藤(秀)、森川、山口、大井】(4/20～5/25、6/29、7/20)【暫定】(4/12～5/24、6/28、7/19)【A111】	
	理学療法	臨床運動学【岩月】(4/12～6/21、7/5、7/12)【B308】	臨床運動学【岩月】(4/12～4/26、7/12)【B308】 臨床評価実習(5/10～6/28 5/24 を除く) 義肢装具学実習【三浦】(7/5～7/19)【B207】 人間と美術【富田】(7/26)	小児疾病治療論【高山】(4/19、4/26)【A111】 臨床評価実習(5/10～6/28 5/24 を除く) 義肢装具学実習【三浦】(7/5～7/19)【B207】 人間と美術【富田】(7/26)	臨床評価実習(5/10～6/28 5/24 を除く) 義肢装具学実習【三浦】(4/12～4/26、7/5～7/19)【B207】 人間と美術【富田】(7/26)	臨床評価実習(5/10～6/28 5/24 を除く) 義肢装具学実習【三浦】(4/12～4/26、7/5～7/19)【B207】 人間と美術【富田】(7/26)	臨床評価実習(5/10～6/28 5/24 を除く) 義肢装具学実習【三浦】(4/12～4/26、7/5～7/19)【B207】	臨床評価実習(5/10～6/28 5/24 を除く) 義肢装具学実習【三浦】(4/12～4/26、7/5～7/19)【B207】
	社会福祉		人間と美術【富田】(7/26)	医学概論【吉村、成田、大山】(4/12～7/19)【B117】	医学概論【吉村、成田】(4/12～5/31)【B117】	社会福祉研究演習(4/12～7/19)【大和田:B107】【入江:B101】【佐藤(恵):B103】【増山:B111】【安田:B108】【山内:B106】【大竹:B105】【渡邊:B104】【千葉:B102】【大山:B114】【齋藤:B113】【杉山:B206】【坂下:B112】		
金	看護	小児看護援助論【中村(由)、赤羽、杉本】(4/13～5/25、6/29、7/20)【A111】	小児看護援助論【中村(由)、赤羽、杉本】(4/13～5/25、6/29、7/20)【A111】		人間と音楽【中村(智)】(4/13～5/25、6/29)【音楽室】	人間と音楽【中村(智)】(4/13、4/20、5/18、5/25、6/29)【音楽室】 小児疾病治療論【網塚】(4/27、5/11)【A101】	母性疾病治療論【佐藤(秀)、森川、山口、大井】(4/20～5/25、6/29、7/20)【A111】	
	理学療法	医療心理学【入江】(4/13～7/20)【B114】	呼吸循環障害理学療法論【山下】(4/13～7/20)【B114】	スポーツ障害理学療法論【三浦】(6/1～7/20)【B207】	人間と音楽【中村(智)】(4/13～5/25、6/29)【音楽室】 義肢装具学実習【三浦】(6/1～6/22、7/6～7/20)【B207】	人間と音楽【中村(智)】(4/13、4/20、5/18、5/25、6/29)【音楽室】 小児疾病治療論【網塚】(4/27、5/11)【A101】 義肢装具学実習【三浦】(6/1～6/22、7/6～7/20)【B207】	義肢装具学実習(後片付け)(6/1～6/22、7/6～7/20)	
	社会福祉		家族福祉論【齋藤】(4/13～7/20)【B117】	精神保健福祉援助技術各論【坂下、長谷川】(4/13～7/6)【B117】	人間と音楽【中村(智)】(4/13～5/25、6/29)【音楽室】	人間と音楽【中村(智)】(4/13、4/20、5/18、5/25、6/29)【音楽室】		
土	看護							
	理学療法							
	社会福祉							

：必修科目，：選択科目，：助産学コース，：精神保健福祉士指定科目

<学外実習>

看護学科	経過別看護援助実習 発達援助実習 1クール目(5/28～6/1、6/5～6/8) 2クール目(6/11～6/15、6/18～6/22) 3クール目(7/2～7/6、7/9～7/13)
理学療法学科	臨床評価実習(5/7～7/2 期間中 月・木曜日の午後実施 5/24 を除く) 地域理学療法(9/18～9/21)
社会福祉学科	社会福祉援助技術現場実習(8/6～10/4 後期履修登録) 医療福祉論(6/11～6/12)

<その他授業科目>

3 学科	保健医療福祉特講義(6/2、6/16、6/30、7/14、7/28)
人間総合科学科目	English Communication【イギリス】(8/17～9/9)

<学内イベントなど>

健康診断	4/4 時限 3 学科 3 年生対象
------	--------------------

<集中講義>

人間総合科学科目	人間と美術【富田】(7/24(火)～時限、7/25(水)～時限、7/26(木)～時限) 行動と価値【五十嵐】(9/22(土)～時限、9/25(火)～時限、9/26(水)～時限)【A112】
----------	---

青森県立保健大学 平成 19 年度授業時間割 (3 年後期)

時限 曜日・学科		1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:10~18:30
月	看護	助産診断・技術学【大井、行方】 (10/1、10/22、11/26、12/17~1/28)【A107】	助産診断・技術学【大井、行方】 (10/1、10/22、11/26、12/17~1/28)【A107】	リハビリテーションケア【石鍋、藤田、井澤】 (10/1~10/22、11/26、12/17~1/21)【A107】	リハビリテーションケア【石鍋、藤田、井澤】 (10/1~10/22、11/26、12/17~1/21)【A107】	地域看護援助論(1/28)【山本、山田、細川、千葉、三津谷、西沢】 【A112】	看護倫理学【大関】(10/15)【A111】
	理学療法	母性心理社会学【岡野】 (10/15)【A107】	周産期医学【岡野】 (10/15)【A107】	地域看護援助論(1/28)【A112】 【山本、山田、細川、千葉、三津谷、西沢】	地域看護援助論(1/28)【A112】 【山本、山田、細川、千葉、三津谷、西沢】		
	社会福祉	精神保健福祉援助実習(学内日) (1/7~1/28)【B117】	社会福祉政策論【増山】 (10/15~1/28)【B105】	地域行政論【山内】 (10/15~1/28 11/12を除く)【B117】	精神保健福祉援助技術各論【坂下、長谷川】 (10/15~1/28 11/12を除く)【B117】	精神保健福祉援助技術各論【坂下、長谷川】 (10/15)【B117】	
火	看護	看護研究方法論【藤井、大関、上泉、角濱】 (10/2~10/23、11/27、12/18~1/8)【A111】	看護研究方法論【藤井、大関、上泉、角濱】 (10/2~10/23、11/27、12/18~1/8)【A111】	災害看護学【上泉、平尾】 (10/2~10/16)【A305】	災害看護学【上泉、平尾】 (10/2~10/16)【A305】	災害看護学【上泉、平尾】 (10/9)【A305】	クリティカルケア【平尾、深谷、三浦】 (11/27、12/18~1/29)【A112】
	理学療法	看護教育学【大串、藤本、佐藤真】 (1/15、1/29)【A110】	看護教育学【大串、藤本、佐藤真】 (1/15、1/29)【A110】	がん看護【鳴井、本間】 (10/23、11/27、12/18~1/22)【A305】	がん看護【鳴井、本間】 (10/23、11/27、12/18~1/22)【A305】	クリティカルケア【平尾、深谷、三浦】 (11/27、12/18~1/29)【A112】	クリティカルケア【平尾、深谷、三浦】 (11/27、12/18~1/29)【A112】
	社会福祉	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (1/22)【A112】	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (1/22)【A112】	リハビリテーションケア論【石鍋】 (10/2~11/13)【B114】	障害予防概論【盛田、山下】 (10/2~11/13)【B114】		
水	看護	助産診断・技術学【大井、行方】 (10/3~10/24、11/28、12/19~1/16)【A107】	助産診断・技術学【大井、行方】 (10/3~10/24、11/28、12/19~1/16)【A107】	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (10/3~10/17、1/9~1/30)	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (10/3~10/17、1/9~1/30)	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (10/3、10/17、1/9~1/30)	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (10/3)【A112】
	理学療法	呼吸循環器障害理学療法実習【山下】 (10/3~12/19)【B301、B308】		高齢障害理学療法論【川口、桜木】 (10/3~10/24)【B113】	高齢障害理学療法論【川口、桜木】 (10/3~10/24)【B113】		
	社会福祉		精神医学【大山】 (10/10~1/16)【B117】				
木	看護	ペリネイタルケア【中村由、大井、赤羽】 (10/4~10/25、11/29、12/20~1/17)【A112】	ペリネイタルケア【中村由、大井、赤羽】 (10/4~10/25、11/29、12/20~1/17)【A112】	看護倫理学【大関】 (10/4~10/18)【A111】	看護倫理学【大関】 (10/4~10/18)【A111】	女性生殖生理学【斎藤勝、小笠原】 (10/4~10/25)【A107】	女性生殖生理学【斎藤勝、小笠原】 (10/4~10/18)【A107】
	理学療法	クリティカルケア(1/24)【平尾、深谷、三浦】 【A112】	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (1/17)【A112】	国際比較看護論【大関】 (11/29、12/20~1/17)【A107】	国際比較看護論【大関】 (11/29、12/20~1/17)【A107】	周産期医学【斎藤勝、蓮尾】 (11/29、1/10)【A107】	周産期医学【斎藤勝、蓮尾】 (10/25、11/29、12/20、1/10)【A107】
	社会福祉	クリティカルケア(1/24)【平尾、深谷、三浦】 【A112】	看護教育学【大串、藤本、佐藤真】 (1/24)【A110】	社会福祉援助技術演習【大和、加賀谷】 【増山】 (10/11~1/17)	看護教育学【大串、藤本、佐藤真】 (1/24)【A110】	社会福祉研究演習【渡邊】 (10/11~1/17)【B117】	地域看護援助論(1/24)【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 【A112】
金	看護	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (10/5~10/19、12/21~1/25)【A112】	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (10/5~10/19、12/21~1/25)【A112】	地域看護援助論【山本(春)、山田(典)、細川、千葉、三津谷、西沢】 (10/19、1/11)【A112】	助産学概論【大井、大関、溝江】 (10/12~10/26、11/30、12/21、1/11)【A107】	周産期医学【網塚】 (10/12~10/26、11/30、12/21、1/11)【A107】	看護教育学【大串、藤本、佐藤真】 (1/11)【A110】
	理学療法	発達障害理学療法実習【川口、長門】 (10/5~12/21)【B113、B302】		看護情報学【太田】 (1/25)【A111】	看護情報学【太田】 (1/25)【A111】	看護情報学【太田】 (1/25)【A111】	看護情報学【太田】 (1/25)【A111】
	社会福祉	精神保健福祉論【坂下、大山、長谷川】 (10/12~12/21 12/14を除く)【B117】	精神保健福祉論【坂下、大山、長谷川】 (10/12~12/21 12/14を除く)【B117】		画像診断学【秋元】 (10/12、10/26)【B113】	画像診断学【秋元】 (10/12、10/26)【B113】	
土	看護	看護情報学【太田】 (1/26)【A111】	看護情報学【太田】 (1/26)【A111】	看護情報学【太田】 (1/26)【A111】	看護情報学【太田】 (1/26)【A111】		
	理学療法						
	社会福祉						

< 学外実習 >

看護学科	経過別看護援助実習 発達援助実習 1クール目(10/29~11/2、11/5~11/9) 2クール目(11/12~11/16、11/19~11/22) 3クール目(12/3~12/7、12/10~12/14)
理学療法学科	初期総合臨床実習 (1/7~2/16)
社会福祉学科	社会福祉援助技術現場実習 (8/6~10/4) 精神保健福祉援助実習 (2/12~3/7)

上記、実習実施日は1時限~6時限まで通常授業は実施しない。

< その他授業科目 >

人間総合科学科目	English Communication【オーストラリア】(2/22~3/16)
----------	---

< 学内イベントなど >

3 学科	大学祭 10/5~10/8
------	---------------

10/5 午後~10/8 は基本的に通常授業は実施しない。

< 集中講義予定 >

人間総合科学科目	思想と歴史【五十嵐】(2/12 ~ 時限、2/13 ~ 時限、2/14 ~ 時限)【B109】
----------	---

青森県立保健大学 平成 19 年度前期時間割 (4 年前期)

時限 学年・学科	1 9:00～12:00	2 10:30～11:50	3 12:40～14:00	4 14:10～15:30	5 15:40～17:00	6 17:10～18:30
月	看護	地域福祉論【杉山】 (4/9～5/7、5/28、7/9) 【A101 4/9 のみ A111】	地域福祉論【杉山】 (4/9～5/7、5/28、7/9) 【A101 4/9 のみ A111】	地域統合実習(学内日) (5/28)【A111】	地域統合実習(学内日) (5/28)【A111】	実践基礎看護技術(後片 付)(4/12～7/5)
	理学療法	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	理学療法原論【盛田】 (4/12～7/5、7/19、 7/26)4/12、4/19 は 【A202】他は【B109】
	社会福祉			社会福祉行政論【山内】 (4/9～7/23)【B116】		地域福祉論【渡邊】(4/12 ～7/5、7/19)【B115】
火	看護	助産診断・技術学【大井、 行方】(4/10～4/24、 5/8、5/29、6/5、7/10、 7/17)【A107】	助産診断・技術学【大井、 行方】(4/10～4/24、5/8、 5/29、6/5、7/10、7/17) 【A107】	看護マネジメント論【鄭、上泉、早川】 (4/10～5/8) 【A112 5/1のみA305】	看護マネジメント論【鄭、上泉、早川】(4/10 ～5/8)【A112 5/1のみA305】	看護マネジメント論【鄭、上泉、早川】(4/10 ～5/8)【A112 5/1のみA305】
	理学療法	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習
	社会福祉		社会福祉行政論【山内】 (7/17)【B115】	ケアマネジメント論【佐藤秀 紀、上泉、石鍋、細川、桜木、石 田】(7/17)【A101】	ケアマネジメント論【佐藤秀紀、 上泉、石鍋、細川、桜木、石田】 (7/17)【A101】	ケアマネジメント論【佐藤秀紀、上泉、 石鍋、細川、桜木、石田】(7/17) 【A101】
水	看護学科	卒業研究(4/11、4/18、 5/2、6/6) 地域統合実習(学内日) (4/25、5/9、5/30) 【A112】	卒業研究(4/11、4/18、 5/2、6/6) 地域統合実習(学内日) (4/25、5/9、5/30) 【A112】	卒業研究(4/11～5/9、 5/30) 地域統合実習(学内日) (6/6) 【A112】	卒業研究(4/11～5/9、 5/30) 地域統合実習(学内日)(6/6) 【A112】	卒業研究(4/25、5/9) 地域統合実習(学内日)(6/6) 【A112】
	理学療法	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習
	社会福祉	ケアマネジメント論【佐藤秀 紀、上泉、石鍋、細川、桜木、 石田】(7/18)【A101】	保健医療ソーシャルワーク 実習指導【杉山、長谷川、加 賀谷】(4/25～6/6) 【B206】 ケアマネジメント論【佐藤秀 紀、上泉、石鍋、細川、桜木、石 田】(7/18)【A101】	卒業研究 (4/11～7/4) 【B109】	卒業研究 (4/11～7/4) 【B109】	卒業研究 (4/11～7/4) 【B109】
木	看護学科	助産診断・技術学【大井、 行方】(4/19～5/10、5/31、 6/7、7/12、7/19) 【A107】	助産診断・技術学【大井、 行方】(4/19～5/10、5/31、 6/7、7/12、7/19) 【A107】	看護マネジメント論【鄭、 上泉、早川】 (4/12～5/10)【A112】	看護マネジメント論【鄭、上泉、 早川】 (4/12～5/10)【A112】	看護マネジメント論【鄭、上泉、 早川】 (4/12～5/10)【A112】
	理学療法	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習
	社会福祉	精神科リハビリテーショ ン学【大山】 (4/12～7/19)【B107】	精神保健福祉援助実習 (学内日) (4/12～7/26)【B107】	精神保健福祉援助演習【坂 下、石田、長谷川】 (4/12～7/5)【B107】	精神科リハビリテーション学 【大山】 (4/12～7/19) 【B107】	
金	看護学科	地域統合実習(学内日) (6/8)【A112】	地域統合実習(学内日) (6/8)【A112】	地域統合実習(学内日) (6/1)【A111】	母性心理社会学【新道、大井】 (4/13～5/11、6/1、6/8) 【A107】	
	理学療法	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習	総合臨床実習
	社会福祉	ケアマネジメント論【佐藤秀 紀、上泉、石鍋、細川、桜木、 石田】(7/20)【A101】	ケアマネジメント論【佐藤秀 紀、上泉、石鍋、細川、桜木、 石田】(7/20)【A101】			

：必修科目， ：選択科目， ：助産学コース， ：精神保健福祉士指定科目

<学外実習>

看護学科	看護マネジメント実習(5/14～5/18、5/21～5/25) 地域統合実習(6/11～6/15、6/18～6/22、6/25～6/29、7/2～7/6、8/28～8/31、9/3～9/7) 助産学実習 前期(8/27～8/31、9/3～9/7、9/10～9/14)
理学療法学科	総合臨床実習(4/9～5/26、6/4～7/14)
社会福祉学科	保健医療ソーシャルワーク実習(8/6～9/27の期間) 精神保健福祉援助実習(4/16～7/23、8/6～9/26の期間)

<その他授業科目>

3学科	保健医療福祉特殊講義(6/2、6/16、6/30、7/14、7/28)
人間総合科学科目	English Communication【イギリス】(8/17～9/9)

<学内イベントなど>

健康診断	4/3 ・ 時限 3学科4年生対象
------	-------------------

青森県立保健大学 平成 19 年度授業時間割 (4 年後期)

時限 曜日・学科		1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:10~18:30
月	看護	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/15、10/29)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/15、10/29)【A101】				
	理学療法	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/15、10/29)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/15、10/29)【A101】				
	社会福祉	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/15、10/29)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/15、10/29)【A101】				
火	看護	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/16、10/30)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/16、10/30)【A101】				
	理学療法	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/16、10/30)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/16、10/30)【A101】		理学療法福祉領域特殊講義【小村】 (11/27~12/11)【B113】	理学療法福祉領域特殊講義【小村】 (11/27~12/18)【B113】	
	社会福祉	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/16、10/30)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/16、10/30)【A101】	地域保健医療論【竹森(幸)】 (10/2~10/16、10/30~12/18)【B109】	地域保健医療論【竹森(幸)】 (10/2)【B109】	保健医療ソーシャルワーク実習指導【杉山】(10/2~10/16、10/30)【B206】	保健医療ソーシャルワーク実習指導【杉山】(10/2~10/16、10/30)【B206】
水	看護	卒業研究 (10/17~12/19)	卒業研究 (10/17~12/19)	卒業研究 (10/17、10/31、11/7)	卒業研究 (10/17、10/31、11/7)		
	理学療法	卒業研究 (10/3~12/5)	卒業研究 (10/3~12/5)	卒業研究 (10/3~12/5)	卒業研究 (10/3~12/5)	卒業研究 (10/3~12/5)	
	社会福祉	精神保健福祉援助実習 (学内日) (10/3~10/17、10/31)【B107】	精神保健福祉援助実習 (学内日) (10/3~10/17、10/31)【B107】	卒業研究 (10/3~10/17、10/31~12/5)【B110】	卒業研究 (10/3~10/17、10/31~12/5)【B110】	卒業研究 (10/3~10/17、10/31~11/14)【B110】	
木	看護	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/18、11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/18、11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (11/1)【A101】	
	理学療法	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/18、11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/18、11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (11/1)【A101】	
	社会福祉	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/18、11/1)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/18、11/1)【A101】	精神保健福祉援助実習 【坂下、石田、長谷川】(10/4~12/20 11/1を除く)【B107】	精神保健福祉援助実習 【坂下、石田、長谷川】 (10/4、10/11)【B107】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (11/1)【A101】	社会福祉研究演習 (10/4~12/20)【大和田:B107】 【入江:B101】【大山:B114】【渡邊:B104】 【大竹:B105】【佐藤:B103】【杉山:B206】 【千葉:B102】【増山:B111】【安田:B108】 【山内:B106】【齋藤:B113】
金	看護	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/19)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/19)【A101】				
	理学療法	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/19)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/19)【A101】	理学療法医療領域特殊講義【富田】 (10/26)【B114】	理学療法医療領域特殊講義【富田】 (10/26)【B114】	理学療法医療領域特殊講義【富田】 (10/26)【B114】	理学療法医療領域特殊講義【富田】 (10/26)【B114】
	社会福祉	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/19)【A101】	ケアマネジメント論演習【桜木】 (10/19)【A101】				
土	看護						
	理学療法	理学療法医療領域特殊講義【富田】 (10/27)【B114】	理学療法医療領域特殊講義【富田】 (10/27)【B114】	理学療法医療領域特殊講義【富田】 (10/27)【B114】			
	社会福祉						

< 学外実習 >

看護学科	助産学実習 (10/1~10/5、10/9~10/12)
社会福祉学科	保健医療ソーシャルワーク実習 (8/6~9/27) 精神保健福祉援助実習 (8/6~9/26)

上記、実習実施日は1時限~6時限まで通常授業は実施しない。

< その他授業科目 >

人間総合科学科目	English Communication【オーストラリア】(2/22~3/16)
----------	---

< 学内イベントなど >

3 学科	大学祭 10/5~10/8
------	---------------

10/5 午後~10/8 は基本的に通常授業は実施しない。

カリキュラム（平成15年度以後に入学する学生）

人間総合科学科目

特徴ある5つの科目群からなる人間総合科学科目。いわゆる教養科目にあたり、3学科の共通科目として位置づけられています。

1年次から3年次にかけて効果的に教育できるように配置し、専門性のみならず、総合的な判断力を身に付けた職業人として主体的に生きていく人間形成をめざしています。

人間総合科学科目一覧表

	内 容	科 目
人間と存在	「人間とは何か」「自分とは何か」について深く考える科目群です。卒業後、医療や福祉の現場に出た際、人間存在の根本にかかわる問いに直面することがあります。そしてそれは、クライアントの問題ではなく、自分自身の問題として問われることも多いでしょう。この科目群では、学生自らの経験のうちに問題を追い求め、主体的に解決する態度を育成することを目的としています。	思想と歴史 / 行動と価値 / 人格形成と生活行動 / 教育と人間 / 個人と組織 / 健康と運動 / 人間総合科学演習
科学と論理	有史以来、人間が創造してきた知的所産である科学。この科目群ではその本質を学び、科学的知識と科学的方法を通して、厳密性と確実性に基づく理論的および客観的な思考能力を高めます。	情報とネットワーク / 科学と創造 / 近代科学と思想の論理 / システム論と思考の論理 / 調査と科学的方法
芸術と創造	人間に潤いと豊かさをもたらす創造的所産に接して、感性による認識と創造的機能を学び、それを日々の生活に具体化できる能力を高めていきます。	人間と音楽 / 人間と美術 / 人間と文学 / 人間と演劇
現代社会と環境	国際化の進展が著しい今日、地球的規模で現代社会を考える思考能力が求められています。このコースでは、世界中の国々に対する客観的で幅広い理解、国際社会の一員としてのあり方、世界平和を維持するための深い思考能力やコミュニケーションスキルの獲得をめざし、3人の教員によるオムニバスで講義を実施。国際人として必要な基礎知識を伝えます。	生態系と生活 / 生活と環境 / 青森の風土と生活 / 社会の動態と生活形態 / 法律と生活 / 経済と生活 / グローバル社会と文化 / 国際関係と日本 / 科学技術と環境
言語とコミュニケーション	本学は、健康福祉系の大学としては珍しく英語教育とコミュニケーション能力の育成に力を入れています。世界193カ国中70カ国で公用語・通用語として使用されている英語には、イギリス英語やアメリカ英語のほか、いろいろな種類の英語が存在することから、本学では英語教員を4カ国から招聘し、英語教育を展開。さらに「退任関係コミュニケーション」科目を必須項目に設定し、自国語でのコミュニケーション能力を高めていきます。	人間関係とコミュニケーション / English / English Communication / 韓国事情と言語 / 中国事情と言語 / ロシア事情と言語 / 手話

看護学科

看護の専門知識と実践力、人間としてのバランス感覚も大切に。

看護学科教育課程概念図

「看護体験実習」 基礎看護実習		基礎看護実習		国際比較看護論 「看護教育学」など 展開科目 10単位必修 2単位選択 計12単位		「看護マネジメント論」 「卒業研究」など	
「看護学概論」 「実践基礎看護技術」など		「実践基礎看護技術」 「ヘルスアセスメント」など		経過別看護援助実習 発達援助実習		看護マネジメント実習	
		基幹科目 46単位必修 11単位選択 計57単位		「看護倫理学」 「在宅看護論」など		地域統合実習	
「保健福祉概論」 「人体構造機能学」など		「生命基礎科学」 「病理病態学」など		「疫学と保健統計」 「母性疾病治療論」など		「地域福祉論」	
		専門支持科目 20単位必修 4単位選択 計24単位					
「保健医療福祉特殊講義」 「生物の基礎」など		「整形外科学」 「神経内科学」など		「障害予防概論」 「医療福祉論」など			
		共通選択科目 2単位選択 計2単位					
		人間総合科学科目 16単位必修 13単位選択 計29単位					
1年次	2年次	3年次	4年次				

カリキュラムは「人間総合科学科目」と「専門科目」からなり、さらに「専門科目」は「専門支持科目」「基幹科目」「展開科目」「共通選択科目」の4科目群で構成されています。「専門支持科目」では、人間を深く理解し、看護援助を行う際に必要となる関連科目を広く学びます。「基幹科目」では、看護の基本となる考え方や援助技術、特殊な知識が必要とされる場面での看護援助、青森県が抱える保健問題などの知識を幅広く学習。さらに「展開科目」によって、保健医療・福祉の各分野で他の職種と協力して問題を解決する能力を育むとともに、リーダーシップ能力を高めていきます。また、「専門科目」の中に、「共通選択科目」を設け、他学科の科目や専門領域の他、関連する公開講座等を自主的に選択することによって、他領域の理解を深めることをめざします。

理学療法学科

医療福祉を総合的に理解し、
地域社会のニーズに応える理学療法士をめざす。

理学療法学科教育課程概念図

臨床基礎実習	「理学療法研究方法論」	臨床評価実習 初期総合臨床実習	臨床基礎実習
展開科目 28単位必修 1単位選択 計29単位		「臨床判断分析学」	「ケアマネジメント論」 「理学療法医療領域特殊講義」など
「理学療法言語」 「理学療法評価学」など	「理学療法評価学演習」 「運動器障害理学療法学」など	「理学療法演習」 「臨床運動学」など	
基幹科目 26単位必修 3単位選択 計29単位			
「保健福祉概論」 「解剖学」など	「解剖学総合実習」 「生理学実習」など	「医療心理学」 「小児疾病治療論」など	
専門支持科目 32単位必修 3単位選択 計35単位			
「保健医療福祉特殊講義」 「生物の基礎」など	「家族援助論」 「人間発達援助論」など	「リハビリテーションケア」 「クリティカルケア」など	「看護マネジメント論」 「母性心理社会学」など
共通選択科目 2単位選択 計2単位			
人間総合科学科目 14単位必修 15単位選択 計29単位			
1年次	2年次	3年次	4年次

カリキュラムは「人間総合科学科目」と「専門科目」からなり、さらに「専門科目」は「専門支持科目」「基幹科目」「展開科目」「共通選択科目」の4科目群で構成されています。「専門支持科目」では、理学療法を理解するうえで基礎となる人体の構造や機能、理学療法対象疾患の病態など、医学的基礎知識を中心に学びます。「基幹科目」では、理学療法で中心となる運動療法や物理療法などを、講義と実習を通して段階的に学習します。「展開科目」はそれまでの学習の成果を発展・応用した科目で、実際の場面での問題解決能力を養い、自ら研究できる能力を高めます。また、「専門科目」の中に、「共通選択科目」を設け、他学科の科目や専門領域の他、関連する公開講座等を自主的に選択することによって、他領域の理解を深めることをめざします。

社会福祉学科

人間らしく暮らせる地域社会を
コーディネートする福祉の専門職をめざして。

社会福祉学科教育課程概念図

基幹科目 40単位必修 11単位選択 計51単位		精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習
「社会福祉学概論」 「社会福祉援助技術論」など		「社会福祉政策論」 「国際福祉論」 「地域行政論」など	「国際福祉論」 「社会福祉行政論」など
「社会福祉援助技術論」 「社会福祉援助技術論」など		「社会福祉研究演習」 「医学概論」など	
専門支持科目 20単位必修 8単位選択 計28単位		展開科目 8単位必修 6単位選択 計14単位	
「保健福祉概論」 「社会学」など	「社会福祉援助技術現場実習指導」 「ケアマネジメント原論」 「生涯発達心理学」など	「社会福祉援助技術現場実習指導」	「社会福祉援助技術現場実習指導」
共通選択科目 2単位選択 計2単位		「社会福祉援助技術現場実習」	「看護マネジメント論」 「母性心理社会学」など
「保健医療福祉特殊講義」 「生物の基礎」など	「家族援助論」 「人間発達援助論」など	「リハビリテーションケア」 「クリティカルケア」など	
人間総合科学科目 14単位必修 15単位選択 計29単位			
1年次	2年次	3年次	4年次

カリキュラムは「人間総合科学科目」と「専門科目」からなり、さらに「専門科目」は「専門支持科目」「基幹科目」「展開科目」「共通選択科目」の4科目群で構成されています。「専門支持科目」では社会福祉を学ぶうえで必要な人間とその営みである社会生活を理解するための基礎を学びます。「基幹科目」は社会福祉を学ぶうえで核となる科目を配置。社会福祉の各分野で利用者の方々を抱える生活問題を専門的に理解し、解決する能力を養います。「展開科目」は、それまで学んだ知識や技術を深め、さらに発展させていく科目を配置。援助実践能力を高めるとともに、基礎的な研究能力も養います。また「専門科目」の中に、「共通選択科目」を設け、他学科の科目や専門領域の他、関連する公開講座などを自主的に選択することによって、他領域の理解を深めることをめざします。

教 育 活 動

平成19年度の教育活動のまとめ

看護学科

教務委員長 佐藤 秀紀

平成19年度は、平成15年度(2003年度)からカリキュラムの一部を改正した教育を開始したことにより、開学以来のカリキュラムと2つのカリキュラムを動かしている。

本学健康科学部第3次カリキュラム検討委員会は、平成18年度10月に発足し、9回にわたり委員会を開催し、平成20年度より開始される青森県立保健大学健康科学部カリキュラムの改正に関する検討を行った。

この中で、カリキュラムの検討に当たっては、これまでの経験をふまえて、基本理念及び学部の特徴は変更しないこととした。各学科の教育目標については、社会的情勢の変化等から必要とされる修正を行った。また、平成20年度に開設される栄養学科に関する項目を新たに盛り込んだ。

青森東高校との高大連携事業の参加受講生は、2年次生23名(男子2名、女子21名)であった。この事業は、大学における授業を実際に体験することで、生徒が、より具体的に本学についてのイメージを持ってもらうこと、また、高校とは異なった講義を聴講することで、いろいろな学問への興味や関心を深めてもらうことを主旨としている。生徒の受講科目は、「グローバル社会と文化」「医療人類学」「理学療法原論」の3講座で、一人1講座を受講とした。23名全員が本学学生とともに学び、修了後に高校の単位として認められた。全員が修了できたのは、授業を実施していただいた教員の多大なる協力と受講生徒の意識の高さと努力があったからこそと思われる。

演習報告

【授業科目】実践基礎看護技術

【科目概要】2単位 60時間 必修

【履修年次】1年前期

【科目責任者】福井幸子

【担当教員】角濱春美・藤本真記子・木村恵美子・佐藤真由美・田中広美・山本加奈子

【科目目標】患者の日常生活を援助するための基本的な技術の具体的方法について演習を通して学ぶ。援助技術1つ1つ基礎となる諸要素と根拠を理解する。援助を行う中で看護師として必要な態度を身につける。

【演習の内容】下記の項目を実際に看護師・患者役割をとって体験的に学習する。1.看護技術の基本要素(安全・安楽・自立)2.感染を予防する技術(手洗い・手袋着脱)3.環境調整の技術(ベッドメーカー)4.活動・休息の援助(ポジショニング・体位変換・ボディメカニクス・車椅子輸送・ストレッチャー輸送)5.衣生活の援助(寝衣交換・シーツ交換)6.基本的観察技術(TPR/BP測定)7.呼吸循環を整える技術(冷電法)8.清潔の援助(洗髪・清拭・足浴・口腔ケア)9.食事の援助(食事介助・手浴・歯磨き)10.排泄の援助(便尿器の援助・陰部洗浄・おむつ交換)11.患者とのコミュニケーション

【演習方法】基本的な知識の講義の後、ビデオ・実演によるデモンストレーションを行い、チェックリストを用いて学生同士が看護師役・患者役をとり、演習を行った。教員7名は、1名あたり14-16名の学生を受け持って指導に当たった。

【学生評価】学生の習得状況は、筆記試験・実技試験・演習態度・事前事後学習課題で把握した。実技試験の評価は、評価リスト(事前に担当教員で評価内容の検討)を用いて、設定患者についての看護技術の評価を行った。その後教員間評価を検討したのち、試験結果は面接指導を通して、学生にフィードバックした。

授業最終日に実施した授業評価の結果は、評価項目全てにおいて全体平均を上回っていた。特に「授

業に興味・関心が持てたか」や、「授業は将来の学習動機を高めたか」、「教員の熱意・意欲を感じたか」等は4.6～4.7と高い評価であった。

【授業科目】実践基礎看護技術

【科目概要・形式】1単位 30時間 必須

【履修年次】1年後期

【科目責任者】藤本真記子

【担当教員】角濱春美・木村恵美子・藤本真記子・福井幸子・佐藤真由美・田中広美・山本加奈子

【科目目標】1. 「実践基礎看護技術」を基礎とし、主に治療環境にある患者に必要な援助を行うための、具体的方法について実践しながら学ぶ。2. 援助技術ひとつひとつの基礎となる諸要素と根拠を理解し、看護実践を行うなかで、看護職者として必要な態度を身につける。

【演習の内容】治療環境にある患者を援助する上で、基本的な技術を、学生同士で互いに患者役割・看護師役割をとりながら、学習する。主な内容は次のとおりである（括弧内は具体的な演習技術）。

感染を予防する技術〔滅菌物の取り扱い、無菌操作〕、排泄の援助技術〔一時的導尿〕、安全を守る技術・創傷管理の援助技術〔包帯法〕、与薬の技術〔内服・点眼・皮下注射・筋肉内注射・点滴静脈内注射〕、生体機能を観察する技術〔採血〕

【演習方法】講義は5名の教員が担当し、演習時は7名の教員で指導にあたった。教員によるデモンストレーション後、学生は互いに看護者・患者役割をとり、チェックリストで留意点を確認しながら演習を行った。身体的侵襲を伴う技術については、シミュレーターや装着式モデルを活用した。

【評価】習得状況は筆記試験・実技試験で把握した。「基礎看護実習」経験後の技術習得科目であることから、具体的イメージを想起しやすいように、実習前に比べて演習時の態度に真剣さが増し、熱心かつ積極的であった。技術試験では、採血の技術を実施した。確実性が求められる技術であるため、再試験対象となった学生も多かったが、合格ラインに届かなかった場合には、試験終了後も繰り返し指導することができた。自己練習は、注射器や注射針など使用教材の管理も必要となるため、教員が実習室に在室できる一定期間となったが、質問や指導の受けやすさになったようで、

技術の向上に結びついた。

【授業科目】実践基礎看護技術

【科目概要・形式】1単位 30時間 必須

【履修年次】2年前期

【科目責任者】藤本真記子

【担当教員】藤本真記子・福井幸子・佐藤真由美・田中広美・山本加奈子

【科目目標】1. 対象に応じた看護過程とその実際を学ぶ。2. 援助技術ひとつひとつの基礎となる諸要素と根拠を理解し、看護実践を行うなかで、看護職者として必要な態度を身につける。

【演習の内容】事例に対するアセスメント、援助計画の立案をし、互いに患者・看護師役割をとりながら援助の実施、評価を行うことで、臨床で実践できる援助技術を習得する。主な内容は次のとおりである（括弧内は具体的な演習技術）。入院患者の受け入れ、看護歴の聴取、症状に対する看護〔呼吸困難、咳嗽・喀痰、下痢・便秘〕、治療などを受ける患者の看護〔酸素吸入、薬液吸入、一時的気道吸引、経管栄養、浣腸、膀胱留置カテーテル、輸液療法中の患者の寝衣交換等〕、死亡時のケア

【演習方法】演習は5名の教員が指導にあたった。入院患者の受け入れ・看護歴聴取では、教員の患者役、学生の看護師役でのロールプレイングなどを行った。そのほかの看護技術では、教員によるデモンストレーション後、学生同士で看護者・患者役割をとり、チェックリストで留意点を確認しながら演習を行った。身体的な侵襲のある技術の習得においては、シミュレーターなどの活用も多かった。

【評価】習得状況は筆記試験で把握した。今年度は、学生が実習で経験する機会が多い技術から、演習技術数を増やしたことで、より臨床に近い状況を想定させることができた昨年度の学習内容に、より工夫を凝らすことができ、学生による授業評価も高まった。

【授業科目】ヘルスアセスメント

【科目概要・形式】2単位 60時間 必修

【履修年次】2年次前期

【科目責任者】角濱春美

【担当教員】藤本真記子・福井幸子・佐藤真由美

【科目目標】対象の健康状態を把握する方法として、主に身体面の情報を総合的に判断するための、Physical Assessment の技法を習得し、患者の状態や問題に合わせたアセスメントの概要を理解する。

看護の判断プロセスについて理解し、看護実践を導き出すための患者アセスメントの概要を学習する。

【演習の内容】この演習では、特に身体の状態を査定するための、Physical Assessment の技術を、実習を通して習得した。内容は以下のとおりである。

視診・聴診・触診・打診・問診の方法、全身状態のアセスメント、系統的フィジカルアセスメント(頭部、頸部、眼、耳、鼻、呼吸器、乳房・腋窩、心臓・血管系、腹部、筋・骨格系、神経系、泌尿器、生殖器)、心電図の取り方、問診と mental status

【演習方法】小人数学習で確実な技術を習得させるために、100名の一斉講義を行った後、半数に分けての演習を行った。実習は学生同士で看護師役割、患者役割をとり、お互いのからだの「Head to Toe」のアセスメントを行った。講義時は、臨床の事例を多く用い、作成したビデオ教材を、デモンストレーションに用いた。また、学生の自己学習支援として予習資料の提示、実技練習を促進させる環境整備を行った。

【学生評価】学生の習得レベルは、実技試験・筆記試験で把握した。実技試験は、模擬患者を活用した OSCE (客観的臨床能力試験)を導入した。結果は個別面接を行ってフィードバックをした。より実践に近い方法での評価であり、臨床技能の向上に直接結びつく可能性が見出された。

また、学生による授業の評価では、ほとんどの学生が、期待していた以上の内容で、楽しく、充実した授業であったと評価し、教員の熱意や教え方、態度についても高い満足を示していた。

【授業科目】看護過程

【科目概要】1単位 15時間 必修

【履修年次】1年後期

【科目責任者】木村恵美子

【担当教員】福井幸子

【科目目標】看護現象を判断し、患者の看護上の

問題を解決するために問題解決思考と行動を支える知識を学ぶ。下位目標として、対象の理解と看護実践の基礎となる看護過程の概念が理解できる。看護上の問題を解決するための系統的思考プロセスの段階が理解できる。看護過程展開の方法が分かる。看護診断・看護記録についての概要が分かる。

【講義の内容】1.総論：看護過程の概要としてアセスメント・看護上の問題点(看護診断)・看護計画・実施と結果・評価の定義、看護理論と看護過程の結びつきについて。2.各論：アセスメント・看護上の問題点(看護診断)・看護計画・実施と結果・評価までを5回に渡り段階を踏んで講義した。

【演習方法】各論の講義後に基礎看護実習1で記録したものを使用し、情報の整理～全体像の描写、看護上の問題点の明確化、看護計画、実施と結果、評価までを書かせた。教員2名(他2名)は、机間巡回を行い、質問に答えた。また、授業終了後にオフィスアワーを設け、1時間から30分間、希望者に個人指導を行った。

【学生評価】学生の習得状況は、筆記試験・演習記録・授業中の態度で把握した。演習物には、学生1人ずつにコメントを付し、指導を加えて返却した。

授業最終日に授業評価をとり、評価は全ての項目において全学平均を上回り、特に担当者の熱意に関しては4.9、授業の分かりやすさは4.5を得た。

【授業科目】看護過程演習

【科目概要】1単位 15時間 必修

【履修年次】2年前期

【科目責任者】木村恵美子

【担当教員】福井幸子・山本加奈子・田中広美

【科目目標】患者の看護上の問題を解決するための系統的思考プロセス：看護過程の展開方法について具体的に理解することができる。

【演習の内容】3つのシナリオ(K氏77歳、急性肺炎、S氏82歳、脱水、A氏55歳、腓骨骨折、O氏58歳、脳梗塞)を用いて、看護過程の展開をGWにて行なう。シナリオには、急性期・慢性期・リハビリ期などを揃え、発達課題毎・性別ごとなどによる違いをイメージ化できるように組み込んだ。2年生前期ということで疾患も小児・母性関連を除き、比較的調べやすいもの

とした。

【演習方法】本演習は、PBL(problem based learning)を応用した小数Gによる演習である。チューター教員は3-4G(1G6-7人)を受け持つ。学生の質問は受けるが、答えではなく、どこを探せばいいのか、何故そう考えるのかといった方向付けを主に行なう。各Gは4つのシナリオのうちの1つをGWにて看護過程の展開を行なう。毎回本日GWで行なう内容をオリエンテーションし、終了後にはG内の学習課題を確認、G毎の経過記録を提出させた。加えて個人の宿題として、情報収集・全体像・アセスメント・看護計画までを毎回課し、それぞれを評価し、点数の半分以下の学生に個人指導を行った。演習最終日は全Gの看護計画発表会を行い、ピアレビューを通して各シナリオの展開を学び、共有した。

【学生評価】学生の習得状況は、筆記試験・演習記録・毎回の提出物、授業中の態度で把握した。演習物には、学生1人ずつにコメントを付し、指導を加えて返却した。

【授業科目】経過別看護援助論

【科目概要・形式】1単位 30時間 必修

【履修年次】2年前期

【科目責任者】石鍋圭子

【担当教員】石鍋圭子・深谷智恵子・鳴井ひろみ・藤田あけみ・平尾明美・井澤美樹子

【科目目標】健康障害がある成人の看護援助を、病気の経過に沿った視点から学習する。1. 健康障害にある対象者の理解に必要な基礎知識と、看護実践に関する理論を学ぶ。2. 健康障害にある成人の急性期、回復期、慢性期、終末期における身体的、精神的、社会的特徴と、各期に応じた援助方法を習得する。

【演習の内容】1. コースガイド：経過別に対象を理解する看護援助の特徴と関連する理論・モデル(石鍋1コマ)2. 急性期・回復期を体験している人の理解と看護 1)急性期にある患者の看護(深谷2コマ)2)手術を経験する患者の看護(藤田2コマ)周手術期看護の特徴；術前・術中の看護、3)手術を経験する患者の看護(平尾2コマ)手術侵襲と生体反応；術後患者の身体的特徴と看護援助、4)回復期にある患者の看護(石鍋2コマ)回復期にある患者の特徴と看護援助；

退院に向けての準備、3.慢性期を体験している人の理解と看護 5)慢性期にある患者の看護(井澤3コマ)慢性期の病気と健康観；病気を体験している人の軌跡と受容過程；慢性期の健康問題と看護；家族の理解と支援；病気とともに生きるための看護援助、4.終末期を体験している人の理解と看護 6)終末期患者の看護(鳴井2コマ)終末期の定義、その特徴と概念；死への準備とその看護(苦痛の援助、家族の援助)

以上のうち、慢性期にある患者の健康問題と看護について、生活習慣改善をとおして行動変容の難しさを体験的に学習できるようにした。

【演習方法】講義は5人の教員が分担し、課題により適宜グループ編成し、指導する体制をとった。

【評価】出席状況、レポート、グループワークへの参加度、テストにより評価を行った。

【授業科目】母性看護援助論

【科目概要・形式】1単位 30時間 必修

【履修年次】2年後期

【科目責任者】佐藤愛

【担当教員】佐藤愛、大関信子

【科目目標】母性看護の意義と対象の特性、母性各期のライフサイクルにおける健康の保持・増進、疾病の予防について理解する。さらに、母子保健統計、保健・福祉に関する社会的資源、育児や社会環境等の側面から、女性の健康に影響する要因や母性看護の課題について理解する。

【演習の内容と方法】母性看護の概念と母性看護の対象の理解、性と生殖、思春期女性の心身の特徴と理解、成熟期女性の心身の特徴と理解、家族計画と受胎調節、妊娠期女性の理解、分娩期女性の理解、産褥期女性の理解、新生児期の理解、児童虐待とDV、社会環境と女性の健康問題(10代の妊娠、人工妊娠中絶、不妊症)の内容を行った。受胎調節法については文献等を用いて、具体的な種類、方法、長所・短所についてレポートをまとめた。

【評価】出席状況、レポート、試験等を総合して評価した。授業評価の結果では全項目で全体平均を上回っており、「授業の分かりやすさ」は4.5、「担当者の熱意・意欲」は4.6であった。

【授業科目】母性看護援助論

【科目概要・形式】1単位 30時間 必修

【履修年次】3年前期

【科目責任者】佐藤愛

【担当教員】佐藤愛、行方かおり

【科目目標】母性看護 での基礎知識をもとに、妊産婦・新生児のヘルスアセスメントとその技法、基礎的な看護援助方法等について理解する。

【演習の内容と方法】 妊娠期女性のヘルスアセスメント、 妊娠期女性の看護ケア、 分娩期女性のヘルスアセスメント、 分娩期女性の看護ケア、 産褥期女性のヘルスアセスメントと看護ケア、 新生児のヘルスアセスメントと看護ケア、

母乳哺育とそのケア、 異常経過をたどる妊産婦の看護ケア、 合併症を持つ妊産婦の看護ケア、 母性の看護過程演習、 「妊産婦の生活と環境」の内容を行った。母性の看護過程演習では、産褥期の母子の事例を用いて看護過程を展開する演習を行った。「妊産婦の生活と環境」ではそれぞれのグループごとに課題を提示し、資料を作成・発表を行った。

【評価】出席状況、レポート、グループワーク、試験等を総合して評価した。

【授業科目】成人看護援助論

【科目概要・形式】2単位 60時間 必修

【履修年次】2年後期

【科目責任者】鳴井ひろみ

【担当教員】鳴井ひろみ・石鍋圭子・深谷智恵子・藤田あけみ・平尾美美・井澤美樹子

【科目目標】生活習慣に起因し、成人期に発生しやすい症状の特徴を踏まえ、健康の保持増進、生活過程で生じる疾病予防への援助方法を学ぶ。また慢性疾患およびがんの治療を体験している患者への援助方法と看護職の役割を理解する。

【演習の内容と方法】1. 栄養代謝機能障害の生活への影響と看護、2. 内部環境調節機能障害の生活への影響と看護、3. 呼吸機能障害の生活への影響と看護、4. 循環器障害の生活への影響と看護、5. 脳・神経機能障害の生活への影響と看護、6. 身体防衛機能障害の生活への影響と看護、7. がんの治療の生活への影響と看護、について講義と事例を用いた看護過程の展開方法の演習を行った。講義は6名の担当教員が分担し、それぞれの担当のところで事例を用いた看護過程の展開

方法を提示した。

【評価】出席状況、レポート、グループワークへの参加度、テストにより評価を行った。

【授業科目】在宅看護論

【科目概要・形式】1単位 30時間 必修

【履修年次】3年前期

【科目責任者】細川満子

【担当教員】細川満子・三津谷恵

【科目目標】在宅で生活している療養者とその家族を理解し、病院から地域への継続看護の意義と在宅看護の実際を学ぶ。

【演習の内容】1. 在宅看護の概念と対象者の理解、2. 在宅ケアと制度の概要、3. 在宅看護過程の展開(1)・(2)、4. 在宅ケアシステムと看護の継続性、5. 療養環境の整備と福祉用具の活用、6. 難病療養者の在宅看護、7. 在宅ターミナルケア、8. 認知症の高齢者の在宅看護、9. 在宅療養者を支える看護技術、10. 在宅看護技術の実際、について講義と演習を行った。

【評価】出席状況・筆記試験・レポートによる総合評価をおこなった。また、ミニテストを毎回実施し講義内容の理解について確認した。担当者間の教材検討やゲストスピーカーの講義を取入れたことで学生の在宅看護の理解が高まった。

【授業科目】リハビリテーションケア

【科目概要・形式】1単位 30時間 選択

【履修年次】3年後期

【科目責任者】石鍋圭子

【担当教員】石鍋圭子・藤田あけみ・井澤美樹子

【科目目標】疾患や外傷によって身体機能に障害を被り、生活の再構築に直面した人々を対象に、リハビリテーションの考え方に基づいて、生きること、生活することを支援するケアについて学ぶ。

【演習の内容】1) 看護ケアとリハビリテーション(2コマ) リハビリテーションの考え方と看護 リハビリテーション、看護、ケア：生活を支援する視点 生活と生活障害：生活機能分類(ICF)2) リハビリテーションケア概説(2コマ) 3) リハビリテーションケアとチームアプローチ・ケアに影響する専門職連携 自立を支援する教育的かわり・生活行動の再獲得のための学習支援・新たな生き方の発見に向けた援助 地

域生活へのマネジメント

課題学習：リハビリテーション・アプローチに関する課題を選択して学習し、その成果を発表する。

【演習方法】全体の講義は教員2名が行い、課題学習は、教員2名が補助した。また、チームアプローチの実際を弘前脳卒中センターで見学した。

【評価】出席状況、見学レポート、課題学習と発表により評価を行った。

【授業科目】クリティカルケア

【科目概要・形式】1単位 30時間 選択

【履修年次】3年次後期

【科目責任者】平尾明美

【担当教員】平尾明美・深谷智恵子・三浦博美

【科目目標】1.クリティカルな状況(生命的危機)にある患者の身体・機能的変化を理解する。2.クリティカルな状況にある患者・家族へのアセスメントや基本的看護援助を学ぶ。

【授業の内容】1.クリティカルケア看護について(クリティカルケア看護の対象,クリティカルケア看護の専門性「専門看護師,認定看護師について」),2.クリティカルな状況の患者の全身管理と観察,3.クリティカルケア看護に必要な看護技術,4.クリティカルな状況にある患者家族への看護,5.クリティカルケアにおける倫理的諸問題について担当教員が分担した。

【演習の方法】

1.グループ学習と発表 クリティカルな状況にある患者の病態との理解として,a.アシドーシス,b.高カリウム血症,c.低体温,d.薬物中毒,e.心タンポナーデ,f.肺塞栓症,g.低容量性ショック,h.低酸素血症についての学習をグループで深めレポートの作成とプレゼンテーションをおこなうとともに学生間の知識の共有をはかった。2.技術演習 クリティカルケア看護に必要な看護技術としてバックバルブマスクによる人工呼吸,除細動器の使用,気管挿管,ACLSの技術習得や早期リハビリテーションの技術として用手圧迫を主とした呼吸理学療法,負荷心電図の評価方法について演習を行った。

【評価】筆記試験(80点満点)とグループ演習の提出物とグループ発表や他のグループへの質問などの参加度を評価した(最高20点)。

【学生による授業評価】科目履修者は55名でそ

のうち45名からの回答があった。学生の自主的な事前・事後学習は3.7であったがそれ以外の項目は4.4-4.8であり,全教科平均より上回っていた。演習,グループワークが役に立つ,解りやすいとの記述評価であった。

【授業科目】がん看護

【科目概要・形式】1単位 30時間 選択

【履修年次】3年次後期

【科目責任者】鳴井ひろみ

【担当教員】鳴井ひろみ・本間ともみ

【科目目標】がんとともに生きる過程(診断期・治療期・終末期)の各段階におけるがん患者および家族の特徴を理解し,がんとともに生きる患者および家族への看護援助方法について学ぶ。

【授業の内容と方法】1.がん看護における倫理的問題,2.がん予防と早期発見のための健康教育,3.がん治療に伴う看護,4.がん患者の身体的苦痛と援助,5.がん患者の心理・社会的苦痛と援助,6.がん患者への教育・支援アプローチ,7.がん患者の家族への援助,8.がん患者と在宅ケア,9.ホスピス・緩和ケア,10.緩和ケアにおける音楽療法について,講義・ビデオ,がん化学療法看護認定看護師やがん専門看護師,音楽療法士を招聘し,がん看護の理解を深めた。また,がん患者の家族の看護については,実際がんで夫を亡くした家族の方に体験を語ってもらい,がん患者の家族の理解を深めた。

【評価】106名が選択した。出席状況,レポート,学生による授業評価,筆記試験により評価を行った。

【授業科目】コンプリメンタリーセラピー1

【科目概要】1単位 30時間 選択

【履修年次】1年後期

【科目責任者】木村恵美子

【担当教員】小坂橋喜久代・河内香久子・山本加奈子

【科目目標】ホリスティックアプローチの原点になっている伝統医学の培ってきた英知と現代医学の成果とを統合的に捉えなおし,国内外のコンプリメンタリーセラピーの流れを概観する。その中から,看護介入に有効な幾つかの技法・リラクゼーション法・マッサージ・指圧法・アロマセラピー

などについて基礎理論を理解し、基本手技を体験する。

【講義の内容】1.からだを見直す 2.伝統医療技術を見直す 3.補完療法にいける看護の役割 4.補完療法のいろいろ 5.リラクゼーション法の理論的枠組みと手技の特徴など

【演習方法】漸進的筋弛緩法・タッチ・マッサージの実際、指圧の実際、アロマオイルを使用しているハンドマッサージ、リンパ浮腫患者へのリンパドレナージュをデモンストレーション後に演習を行った。学生は2人ペアになり、患者・看護師役を担って行った。教員3-4名は、巡回を行い、手技の指導にあたった。基礎看護実習の記録から、コンプリメンタリーセラピーで学んだ技術を実践に生かす方法を考えるということでGWし、計画立案までを行い、発表した。

【学生評価】学生の習得状況は、事前レポート・事後レポートと授業中の態度で把握した。授業最終日に授業評価をとり、ほぼ90%の学生から「非常に良い」の評価を得た。実践に活かせる、非常に実践的で授業が楽しい、看護ケアの具体的な計画を立てたことで、実習におけるイメージがついた、などの意見があった。

【授業科目】助産診断・技術学

【科目概要・形式】2単位 60時間 選択必修

【履修年次】3年後期

【科目責任者】大井けい子

【担当教員】大井けい子・行方かおり・山本真樹子

【科目目標】1.より健康な妊娠期・産褥期・新生児期を過ごし、親役割獲得を援助するために必要な知識・技術を理解し、助産過程の展開の基礎を学ぶ。2.女性の各ライフステージにおける健康の特徴を理解し、対象が健康な生活を送るために必要な援助を学ぶ。

【演習の内容】妊婦および褥婦・新生児の健康診断を行うために診査方法および健康教育、思春期・更年期におけるウイメンズヘルスや今日的問題である乳幼児の子育てを支援するために虐待予防について教授した。

妊婦の健康診断技術演習では骨盤外計測法を行った。学生が相互にモデルとなり、骨盤計測を行い、自らの形態を考察できることを目標に教授し

た。妊産婦体操では理論をもとに実際に体験し、学生が妊婦や褥婦に指導が行えるよう教授した。ゲストスピーカーによるマタニティエクササイズもくわえ、音楽に合わせた体操と運動処方について考察させた。

【評価】出席状況・筆記試験・レポートによる評価をおこなった。

【授業科目】助産診断・技術学

【科目概要・形式】2単位 60時間 選択必修

【履修年次】4年前期

【科目責任者】大井けい子

【担当教員】大井けい子・佐藤愛・行方かおり・山本真樹子

【科目目標】1.産婦と家族がより健康で、主体的・満足な出産をするために、必要な助産の知識・技術を理解する。2.助産過程(助産診断・ケア)の展開の基礎を理解し、展開できる。3.分娩介助の基本的技術を習得する。

【演習の内容】新生児の健康診断・産婦の内診の演習では、健康診断では新生児の諸計測および出生直後の新生児の胎外生活適応への援助方法として、気道確保・保温・感染予防(点眼)について行った。また、妊産婦の内診方法について診断も含めて演習を行った。

助産過程の展開(助産診断)では分娩開始事例を提示し、情報のクラスタリング、情報分析・統合、助産診断、ケア目標、ケア計画を作成し、学生個別に指導助言した。

助産技術では特に、分娩介助技術について教授した。分娩介助技術はビデオを学生各自に貸し出してイメージトレーニングを行うとともに、分娩介助手順冊子を作成し配布した。さらに、分娩準備(器械・器具、摩洗による手洗い、カウンテクニク、産婦準備)と分娩介助・出生直後の新生児のケアについては模型を用い学生の技術が目標に到達するよう反復した個別指導をおこなった。

【評価】筆記試験および実技試験をおこなった。実技試験は評価項目を事前に学生に提示した。実技試験は娩出介助準備(機械・器具の配置、リネン配置、消毒)産婦の排臨状態から胎盤娩出、産道精査まで行い、安全に介助できるかを焦点に評価している。

実習報告

【授業科目】基礎看護実習

【科目概要・形式】2単位 90時間 必修

【履修年次】1年次後期

【科目責任者】角濱春美

【担当教員】藤本真記子・木村恵美子・福井幸子・佐藤真由美・田中広美・山本加奈子・市川美奈子

【実習目的】入院患者の日常生活の看護援助を学び、援助の実践を通し、看護の対象を理解する。

【実習目標】患者に一般的に行われている日常生活の援助を知る。受け持ち患者に必要な日常生活の援助を行う。患者及び患者をとりまく人々とよい関係を持ち、看護者としてふさわしい行動をとることができる。受け持ち患者の状態を多方面から把握する。実習での経験を通し、看護について考えることができる。

【演習方法】青森県立中央病院、青森市民病院、あおもり協立病院、公立野辺地病院にて、実習を行った。各病棟5～6名の学生を配置し、教員は2～3病棟を受け持って指導を行った。初日と2日目は、病棟での看護の流れを知ると共に、患者の個性にあわせた多様な看護技術の方法を学ぶために、看護師一人と行動を共にし、見学と実践を行った。3日目～最終日までは、1名の患者を受け持ち、患者とコミュニケーションを取りながら、患者の情報収集をし、看護師の行っている看護技術の意味を考えた上で実践した。病棟でカンファレンスの時間を設け、教員、臨床指導者と共に人権への配慮について、患者との良いコミュニケーションについて、個性のある看護ケアについてなど、議論をしながら学びを深めた。更に、最終日には関心のある技術毎にグループを作成し、発表会を行うことで学びを共有した。

【評価】学生の習得状況は、病棟での実践と態度、記録用紙の記載、レポートにより評価した。実際の現場での看護の困難さを実感しながら、教員や臨床看護師の指導を受けながら、学びを深めていた。

学生の授業評価では、実習への満足度、実習目標の達成度（自己評価）ともに高かった。実習への取り組みは、患者との関係が良好であったか否かに左右されていたが、概ね良いものであった。

【授業科目】基礎看護実習

【科目概要・形式】2単位 90時間 必須

【履修年次】2年後期

【実習期間】Aグループ:2007年10月29日(月)～11月8日(木)、Bグループ:11月12日(月)～11月22日(木)の2週9日間で、なか1日は学内演習

【科目責任者】藤本真記子

【担当教員】角濱春美・藤本真記子・木村恵美子・福井幸子・佐藤真由美・田中広美・山本加奈子・市川美奈子

【実習目的】看護の対象を総合的に理解し、看護過程展開ができる基礎的能力を養う。

【実習目標】1.受け持ち患者を総合的に理解し、看護過程の展開ができる。2.患者の個性にあわせた看護援助が実施できる。3.患者および患者を取り巻く人々と良い関係を持ち、看護者としてふさわしい行動をとることができる。4.実習での経験を通し、看護について考えることができる。

【実習方法】101名の学生を1グループ4～5名の22グループに分け、Aグループ、Bグループとして半数ずつ、4～5日/週の集中実習である。学生は成人または老年期にある患者を受け持ち、臨床実習指導やスタッフ、2～3グループに1名の教員の指導を受けながら実習した。

【実習内容】受持ち患者を通して、情報収集と分析、健康問題、看護上の問題の明確化、援助計画立案、計画に基づいた看護援助の実施、反応や実施状況からの評価、と看護過程展開を行う初めての实習である。カンファレンスは、情報収集・分析、全体像・看護上の問題点抽出等について行い、最終日は実習病院毎に「基礎看護実習の学び」について実施した。

【評価】学生の評価は、病棟での実践と態度、記録用紙の記載、レポートにより評価した。学生による授業評価では、一部記録の大変さなどを訴えていたが、実習への満足度、実習目標の達成度（自己評価）ともに高く、次の実習への意欲に結びついていった。

【授業科目】経過別看護援助実習

【科目概要・形式】2単位 90時間 必修

【履修年次】2年前期

【実習期間】2007年5月28日～7月13日

【科目責任者】鳴井ひろみ

【担当教員】鳴井ひろみ・石鍋圭子・深谷智恵子・藤田あけみ・井澤美樹子・三浦博美・本間ともみ・其田貴美枝

【実習目的】学内で学んだ知識・技術を活用し、成人期にある患者を全人的に理解し、対象の健康レベルに応じた援助を実践するための能力を養う。

【実習目標】

1. 成人期にある人を成長・発達する存在として捉え、ライフプロセスを見据えた長期的視点から、対象を全人的に理解できる。
2. 人間のライフスタイルと健康問題が相互に関連していることを理解できる。
3. 対象の経過における最良の健康レベルを目指し、科学的根拠に基づき、看護を展開できる。
4. 講義・演習で学習した看護理論・看護モデルを活用して、対象に沿った看護過程を展開できる。
5. 常に研究的な姿勢で看護を追究し、実践へと結びつけることができる。
6. チームにおける看護職者の役割を学ぶ。

【実習方法】急性期看護学実習は、外科系4病棟（青森県立中央病院6階西病棟・6階東病棟、青森市民病院6階東病棟・7階西病棟）で、また慢性期看護学実習は、内科系3病棟（青森県立中央病院7階西病棟・7階東病棟・8階西病棟）で実施した。実習は5日/週、2週間の集中実習である。学生を1グループ6~7名に分けて実習病棟に配置し、1教員は1グループの学生を担当した。

【実習内容】原則として、急性期・慢性期各々1人の患者（病院に入院中の患者）を2週間受け持ち、看護過程を展開する実習である。受け持ち患者のケアは、実習指導者および実習担当教員の指導のもとに行い、知識を深め、共有するためにテーマカンファレンスやケースカンファレンスを行った。

【評価】出席状況・実習目標達成度・ケースレポート・看護過程評価・実習に臨む姿勢評価で行った。評価では、A評価：78、B評価：23名、C評価：4名であった。実習目標は、学生の自己評価、教員・実習指導者の評価からほぼ達成できたと考えられる。

【授業科目】発達援助実習（母性看護）

【科目概要・形式】2単位 90時間 選択

【履修年次】3年前期

【科目責任者】佐藤愛

【担当教員】佐藤愛、行方かおり、山本真樹子、（非常勤講師：橋爪直美）

【実習目的】母性看護の特徴を理解し、妊娠・分娩・産褥期にある母子に対する看護の基本駅名実践能力を養う。

【実習目標】正常な経過をたどる母子の心身の変化および母性の形成・発展を理解することができる。母子のニーズをアセスメントし、セルフケア能力を高めるためのケアプランを立案し、実施評価できる。看護者の倫理的な態度と役割を考慮することができる。

【実習方法】実習初日に学内で沐浴や妊婦・褥婦のヘルスアセスメント等の演習を行った。青森県立中央病院・あおもり協立病院において、妊産婦と新生児を受け持ち実習した。また、2日間の外来実習を行った。

【実習内容】妊婦または褥婦と新生児を受け持ち、看護過程を展開し援助を行った。分娩があれば見学し、産婦のケアを行った。外来では妊婦の健康診査・保健指導の見学及び介助を行った。日々のカンファレンスでは実習で感じた疑問や問題点・経験等について共有・意見交換を行った。実習最終日は学内にて午前は全体のカンファレンス、午後は個別面接を行った。

【評価】出席状況、実習態度、実習目標達成度、実習記録等を総合して評価した。実習目標は学生の自己評価、教員・実習指導者の評価からほぼ達成できたと考えられる。

【実習科目】発達援助実習（老年看護）

【科目概要・形式】2単位、90時間、選択必修

【履修年次】3年次前期

【実習期間】平成19年5月28日~7月13日うち10日間

【実習施設】あおもり協立病院、青森敬仁会病院

【科目責任者】坂本祐子

【担当教員】坂本祐子、吹田夕起子、大津美香、鈴木句子（非常勤）

【実習目標】1. 高齢者の加齢に伴う変化と、健康障害を理解できる。2. 入院という環境の変化が高齢者に及ぼす影響を理解し、望ましい入院環境を整えることができる。3. 高齢者の健康の維

持・増進，疾病を予防するための援助ができる。

4．高齢者の生活の質を維持，向上するための援助ができる。5．高齢者と家族を取り巻く保健医療福祉システムの現状を知り，関係者との協働，連携が理解できる。6．専門職業人としての関わりの中で，高齢者看護の課題に気づくことができる。

【実習方法】あおもり協立病院（回復期リハビリ病棟），青森敬仁会病院の各2病棟において概ね70歳以上の高齢者を受け持ち実習した。1グループ4～5名の4グループを編成し，各病棟に1名の教員が常駐し，実習指導者とともに実習指導を行った。

【実習内容】受持ち対象者のケアは，実習指導者および教員の指導のもとに行い，知識を深め共有するためテーマカンファレンス・ケースカンファレンスを行った。またあおもり協立病院ではデイケア実習，青森敬仁会病院では特別養護老人ホームの見学を行った。

【評価】実習評価は，出席状況・実習態度・実習目標達成度・実習レポートをもとに行った。その結果，52名中，A評価37名，B評価10名，C評価4名，単位未修得1名であった。実習目標の達成度については，学生の自己評価，教員・実習指導者の評価からほぼ達成できたと考えられる。

【授業科目】発達援助実習（母性看護）

【科目概要・形式】2単位 90時間 選択

【履修年次】3年後期

【科目責任者】佐藤愛

【担当教員】佐藤愛、行方かおり、山本真樹子、（非常勤講師：権美子）

【実習目的】母性看護の特徴および母性のライフステージの基礎的理解を基盤とし、母子とその家族の生活の場やケアの継続性を考慮した看護ができる能力を養う。

【実習目標】妊産婦の心身の変化および母性の形成・発展を理解することができる。妊産婦および新生児のニーズをアセスメントし、セルフケア能力を高めるためのケアプランを立案し、実施評価できる。母子とその家族の生活の場やケアの継続性を考慮した援助を考えることができる。

看護者の倫理的な態度と役割を考えることができる。

【実習方法】実習初日に学内で沐浴や妊婦・褥婦のヘルスアセスメント等の演習を行った。青森県立中央病院・あおもり協立病院において、妊産婦と新生児を受け持ち実習した。また、2日間の外来実習を行った。

【実習内容】妊婦または褥婦と新生児を受け持ち、看護過程を展開し援助を行った。分娩があれば見学し、分娩が正常で安楽に経過するために産婦の基本的ニードを整える援助や苦痛の軽減のための援助を行った。外来では妊婦の健康診査・保健指導の見学及び介助を行った。日々のカンファレンスでは実習で感じた疑問や問題点・経験等について共有・意見交換を行った。実習最終日は学内にて午前中は全体のカンファレンス、午後は個別面接を行った。

【評価】出席状況、実習態度、実習目標達成度、実習記録等を総合して評価した。実習目標は学生の自己評価、教員・実習指導者の評価からほぼ達成できたと考えられる。

【授業科目】地域統合実習

【科目概要・形式】4単位180時間 必修

【履修年次】4年前期

【実習期間】2007年6月11日（月）～7月6日（金）、8月27日（月）～9月7日（金）

【科目責任者】山田典子

【担当教員】山田典子、山本春江、細川満子、千葉敦子、三津谷恵、戸沼由紀

【実習目的】地域で生活している人々を対象とした地域保健活動および地域看護活動の実際を理解し、地域看護の展開に必要な知識、技術、態度を学ぶ。

【実習方法】112名の学生が、在宅看護実習は訪問看護ステーション（30施設）で4日間、保健所実習は健康福祉こどもセンター（3施設）、県民局地域保健福祉部（3施設）、中核市保健所（1施設）の合計7施設で3日間、市町村実習は32市町村（38施設）で8日間、事前事後の学内実習10日間の地域統合実習を行った。

【実習内容】在宅看護実習では、1施設につき学生2～4名配置した。事前に受け持ち患者情報を把握し、ケアプラン（看護計画）を作成し実習に臨んだ。受け持ち患者および家族から、実習協力の承諾書を事前にいただいた。訪問看護師と同

行訪問し、受け持ち事例以外にも多くの訪問看護を見学・実施できた。

保健所実習は、2期に分けて5～12名の学生を配置した。事前に県職員から保健所の機構や概要、健康青森21事業等について講義をいただいた。未熟児訪問や、難病および結核に対する相談事業に参加した。一部の学生は、市町村保健師との連携や地区把握を体験できた。

市町村実習は1施設につき学生2～7名を配置した。事前に臨地教授より市町村の機構や事業概要について講義を受けた。実習では住民に密着した地域保健活動が体験できた。ほとんどの学生が指導者のもとで健康教育と家庭訪問および地区踏査を体験できた。

【評価】各実習施設での実習評価と、レポートおよび実習記録や態度も含めて総合的に評価した。学生の自己評価、教員・実習指導者の評価から、ほとんどの学生が実習目標を達成できた

【授業科目】助産学実習

【科目概要・形式】5単位 225時間 選択必修

【履修年次】4年前・後期

【実習期間】2007年8月27日(月)～9月14日(金)、10月1日(月)～12日(金)

【科目責任者】大井けい子

【担当教員】大井けい子・佐藤愛・行方かおり・山本真樹子橋爪直美(非常勤、前期)

【科目目標】1. マタニティサイクルにある妊産褥婦・新生児および家族の健康生活を援助する基本的な実践能力を養い、助産過程を展開する。2. 助産師の役割や責務を自覚した行動を取れるよう学ぶ。

【実習方法】昨年の分娩介助経験数や状況を踏まえ、実習場所の一施設を変更した。前半期、むつ総合病院2名、八戸日赤病院2名、青森市民病院2名、あおもり協立病院2名、後半はあおもり協立病院3名、八戸日赤病院2名、立崎レディースクリニック3名の配置を行った。実習方法は 集中実習前に妊娠中期の妊婦を7月から1例の初産婦の承諾を得て受け持ち、受診ごとに産科外来で継続的に健診をおこなう。集中実習期間中は、分娩待機をふくめ、前期3週間(夏季休暇中)および後期2週間の集中実習とする。学生の実習病院配置は2～3名で、入院した産婦の分娩期ケア・

分娩介助に引き続き母子のケアを退院まで行う。学生は夜間も産婦入院を待機し、入院した産婦のケア(分娩介助を含む)を行なう。教員は学生の受け持ち産婦の分娩1例が終了するまで夜間・土日を待機し、指導をおこなう。さらに、学生は教員指導のもとに妊娠期から分娩期(後期実習)、退院までの産褥期を継続的に受け持ちさせていただいた母子を産褥1ヶ月以内に家庭訪問を行う。

【実習内容】2004年6月から、学生は妊娠期から産褥期まで一貫した妊産婦管理を行なうためにマタニティサイクルにある女性1名を本人承諾のもとに継続的に受け持ち、可能な限り妊婦健診・助産ケアや指導を行い(妊娠期平均4回)助産過程を展開した。

また実習期間では、正常分娩と予測された産婦を入院から受け持ち、退院までのケアをおこなった。

後期の実習では産婦および母子の受け持ちに加え、小集団指導(産褥期の生活・家族計画指導、育児・沐浴指導のいずれか)を1回以上おこなった。学生は指導案を作成し、褥婦に指導を実施し、指導の企画運営を自己評価した。また、実習期間終了後、継続事例の母子の家庭訪問計画を立案し、褥婦および新生児健康診断、保健指導をするために家庭訪問を行なった(各学生1回)。教員は、学生の家庭訪問に同伴し、指導をおこなった。

【評価】実習評価は助産過程展開記録、分娩介助技術、小集団指導、家庭訪問指導から評価した。分娩介助技術評価については、分娩介助立会いした教員または直接指導助産師から評価表にもとづいて助言・評価を介助毎に行っている。

また、1週間で1例から2例の分娩介助およびケアを昼夜にかかわらず担当し、さらに他学生の分娩介助の補助(間接介助および出生直後の新生児のケア)を行なうため、助産過程の展開(助産診断およびケア計画の思考過程およびケア実施と評価)に十分な時間が取りにくいことは昨年と同様である。

5週間の実習期間は集団生活をしたことのない学生にとって、この実習は身体的にも精神的にも厳しい状況にある。また課題が多いために学習時間の不足・生活不規則や睡眠不足などの健康上の問題が潜在している。これらは一般の助産学教育に共通している問題でもある。また、八戸日赤病

院実習では夜間実習のための待機や宿泊する場所の確保が難しい状況にあるため、八戸出身の学生を配置した。

今年度の5週間の実習中では、分娩介助事例数は最多受持ち母子数11例、最少8例で全76例であった。平均約9.5例であった。

ここ数年、少子化にともない実習病院の分娩数の減少があることや産科医不足にともない病棟の閉鎖があり、学生の実習場所および分娩介助実習を確保することが困難となっている。追加実習は学生に経済的にも心理的にも負担が大きいため、卒業後まで実習を行うことは好ましくないと考えている。しかし、今年度の実習でも2名の学生がそれぞれ1例の分娩介助数が不足であったため、追加実習を行った。追加実習はむつ総合病院1名、八戸市立市民病院1名を依頼した。結果、それぞれ、2例・1例の正常分娩を介助させていただき、母子の退院まで実習させていただいた。

本学の助産学実習は他大学と実習期間が一部重なるため、同一病院で5週間の実習を行うことができない。そのため、後半で他病院施設へ移動せざるを得ないため、学生のストレスなど問題は山積している。なお昨年の実習施設であった八戸市立市民病院は施設の都合で、今年度は中止となった。

理学療法学科

実習報告

【授業科目】臨床基礎実習

【科目概要・形式】1単位 45時間 必修

【履修年次】1年後期

【実習期間】2007年10月15～19日・26日

【実習施設】青森市内の病院7ヶ所・施設5ヶ所

【科目責任者】藤田智香子

【担当教員】佐藤秀紀、岩月宏泰、川口徹、勘林秀行、佐藤秀一、山下弘二、三浦雅史、桜木康広、李相潤、盛田寛明、橋本淳一、長門五城

【実習目的】1. 理学療法士が働く実際の現場を見学・体験することで、理学療法を必要としている対象者への援助について考える機会とし、今後学んでいく動機づけとする。2. 保健医療福祉の各専門職の役割を知り、職種間の連携について考える。

【実習方法】10月15日：事前学習(学内) 10月16日～18日(学外)：2つの病院で各1日ずつ、施設で1日実習。10月19日学科報告会、26日：3学科合同報告会。

【実習内容】事前学習では、①実習施設の概要 ②リハビリテーションに関わる専門職種 ③車いすの介助方法・杖歩行の監視方法 ④介護保険 ⑤対象者との接し方などについて、講義や実習で理解を深めた。病院と施設での実習は、理学療法部門での見学を主体とし、利用者のお話を伺い、可能な範囲で車いす移動の介助など現場の理学療法士または引率教員の指導のもとで体験的な実習も行った。学科の報告会では、4グループに分かれて①利用者の生活 ②理学療法の専門性 ③他職種との連携について話し合い、発表・質疑応答を行った。3学科合同報告会では、看護学科・社会福祉学科の学生とグループで討議し、その結果を発表・質疑応答を行った。

【評価】出席と実習態度(ディスカッションや発表も含める、45%)およびレポート(55%)で総合的に評価した。

【まとめ】欠席および事故等なく無事終了した。学生の評価も例年通り好評であり、有意義な実習が実施できた。

【授業科目】臨床評価実習

【科目概要・形式】1単位 45時間 必修

【履修年次】3年前期

【実習期間】2007年5月17日～6月25日の月・木曜日8回

【実習施設】青森市内の病院8所

【科目責任者】山下弘二

【担当教員】佐藤秀妃、佐藤秀一、岩月宏泰、川口徹、勘林秀行、藤田智香子、山下弘二、桜木康広、三浦雅史、盛田寛明、李相潤、小田桐愛、橋本淳一、長門五城

【実習目的】理学療法評価学の実践的な学習を臨床場面をとおして実施することにより、講義と学内実習で学んだ理論と実技について統合的に理解する。

【実習方法】実習病院の理学療法部門責任者の総括的指導及び、引率教員の個別指導により理学療法評価学の臨床実習を行う。

【実習内容】整形外科疾患及び中枢神経疾患を対象として、情報収集、評価(観察、検査と測定、記録、統合と解釈)及び、問題点の抽出、治療計画の立案までの一貫した学習をとおして、理学療法評価の実践的な能力を養う。

【評価】実習病院での実習状況、レポート等の提出物、学内での報告会の内容から総合的に評価した。

【まとめ】臨床における理学療法評価の過程をとおして、医療人としてふさわしい態度と行動について認識するとともに、理学療法プログラム立案への糸口をつかむことができた。

【授業科目】初期総合臨床実習

【科目概要・形式】6単位 270時間 必修

【履修年次】3年後期

【実習期間】2008年1月7日～2月16日

【実習施設】臨床実習指定病院・施設19ヶ所

【科目責任者】勘林秀行

【担当教員】佐藤秀紀、岩月宏泰、佐藤秀一、山下弘二、川口徹、勘林秀行、藤田智香子、三浦雅史、桜木康宏、李相潤、盛田寛明、橋本淳一、長門五城

【実習目的】1.実習指定病院において、医療従事者である理学療法士として心身共に適応し、リハビリテーションチームとしての理学療法士の位置づけを正しく認識させる。

2.理学療法に必要な情報収集および患者とのコミュニケーションをスムーズに行える能力を養う。

3.理学療法評価の実施から治療計画立案までを臨床実習指導者の助言のもとに行える。

4.理学療法の記録を適切に行える。

【実習方法】 学生たちはそれぞれ、1ヶ所の実習指定病院において、臨床実習指導者のもとで、理学療法全般についての臨床実習を6週間実施した。科目担当教員は常に臨床実習指導者と連絡をとり、定期的の実習施設を訪問し、実習の進捗状況の把握と必要な指導を行った。

【実習内容】 学生は実習病院において代表的な疾患患者数名を実際に担当し、臨床実習指導者の指導のもとで、理学療法評価の実施から治療計画立案、理学療法の施行、再評価という理学療法の実践を実践的に学んだ。また、実習の内容は常に記録し、臨床実習指導者の指導を受けるとともに、少なくとも1症例についてレポートを作成した。その他可能な限り、回診、カンファレンス、手術見学、訪問医療、研修会や勉強会などにも参加した。実習終了後は、学内において臨床実習の成果を報告するセミナーを開催した。

【評価】 臨床実習指導者と担当教官により、出席状況、実習態度、実習内容、レポートなどから総合的に評価した。

【まとめ】 実習にあたっては、事前に知識の確認などを行った。これによって臨床実習における学生の不安を減らすことができ、実習がスムーズに運んだものとする。1名が実習の続行が困難となったものの、他の18名はアクシデントもなく順調に終了することができた。また、臨床実習指導者による学生の評価、学生のレポートや実習報告会の内容から、18名は実習目標を十分に達成できたものとする。1名が途中で中止となった理由は、実習中に理学療法士になりたいという思いが次第に薄れたためであった。

【授業科目】 総合臨床実習

【科目概要・形式】 12単位 540時間 必修

【履修年次】 4年前期

【実習期間】 I期：2007年4月9日～5月26日、
II期：2007年6月4日～7月14日

【実習施設】 臨床実習指定病院・施設 35ヶ所

【科目責任者】 勘林秀行

【担当教員】 佐藤秀紀、岩月宏泰、佐藤秀一、山下弘二、川口徹、勘林秀行、藤田智香子、三浦雅史、桜木康宏、李相潤、盛田寛明、小田桐愛、橋本淳一、長門五城

【実習目的】 3年次の「初期総合臨床実習」の経験

を踏まえて、4年前期に実習指定病院・施設において、臨床実習指導者のもとに、それぞれの特徴的な患者に対してある程度自立して理学療法を実践できるように臨床経験を積ませる。

【実習方法】 学生たちはそれぞれ、2ヶ所の実習指定病院において6週間ずつ臨床実習を実施した。実習中は臨床実習指導者によって直接指導していただいた。科目担当教員は常に臨床実習指導者と連絡をとり、定期的の実習施設を訪問し、実習の進捗状況の把握と必要な指導を行った。

【実習内容】 学生は実習病院において代表的な疾患患者数名を実際に担当し、臨床実習指導者の指導のもとで、理学療法評価の実施から治療計画立案、理学療法の施行、再評価という理学療法の実践を実践的に学んだ。内容は「初期総合臨床実習」と同様だが、臨床実習指導者には、学生がある程度自立して理学療法を実践できるようそれぞれのレベルにあった指導をしていただいた。I・II期とも学生は、実習内容の記録、症例についてのレポート作成を行い、実習終了後は、学内において臨床実習の成果を報告するセミナーを開催した。

【評価】 臨床実習指導者と担当教官により、出席状況、実習態度、実習内容、レポートなどから総合的に評価した。

【まとめ】 初期総合臨床実習開始前に知識の確認を行うようになったことで臨床実習全体がスムーズに進行した。21名中19名は臨床実習指導者による学生の評価、学生のレポートや実習報告会の内容から、全員が実習目標を十分に達成できたものとする。残りの2名は学内での指導と追加実習を行った結果、実習の目標に達したと判断した。

社会福祉学科

演習報告

【授業科目】社会福祉基礎演習

【科目概要・形式】2単位 60時間必修

【履修年次】1年通年

【科目責任者】入江良平、佐藤恵子、杉山克己、千葉たか子、石田賢哉

【担当教員】入江良平、佐藤恵子、杉山克己、千葉たか子、石田賢哉

【科目目標】本演習は、社会福祉学科カリキュラムの中で専門支持科目に位置づけられており、社会福祉を体系的に学ぶための土台となる、社会福祉の視点の獲得および人間社会や地域生活を理解する基本的思考力の養成を目的とする。

【演習の内容】5人の担当教員が8~9名の小グループを担当し、それぞれの専門領域の視点から、社会福祉の専門職としての導入的教育を行った。

【演習方法】担当教員はチューターの役割を果たしながら、文献購読と発表、海外資料を素材とするディスカッション、グループワークなどを通して基礎的な社会福祉的思考の育成を行った。

【評価】出席状況、レポート、授業における活動などにより総合的に評価した。

【授業科目】社会福祉援助技術演習

【科目概要・形式】2単位 60時間 必修

【履修年次】2年前期(30時間)後期(30時間)

【科目責任者】大和田猛、増山道康、齋藤史彦

【科目担当教員】大和田猛、増山道康、齋藤史彦、加賀谷真紀

【科目目標】1. 社会福祉の専門援助技術を3年次に開講される、社会福祉援助技術現場実習、社会福祉援助技術現場実習指導 につなぐ、モチベーションや基礎的知識・技術を、意図しながら習得させる。

2. 学生個々人が主体的に学習し、行動する態度を養う。

3. 演習の中で人権尊重、権利擁護、自立支援の意味について、理解し、行動できるようにさせる。

【演習の内容】1. 具体的な援助事例を体系的に取り上げながら、担当教員による個別指導、集団指導を展開する。

2. 利用者との関係づくりのために必要な、基本的コミュニケーションスキルなどを含めた、社会福祉

援助技術が、学生個々人に身につくよう、ロールプレイなどを活用し、実施した。

【演習方法】相談援助業務に必要な、知識・技術の必要性と、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技のほか、連絡調整技術などの指導を行い、学習の教育効果があがるよう配慮した。

【評価】出席状況、レポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどにより、総合的に評価した。

【授業科目】社会福祉研究演習

【科目概要・形式】2単位 60時間 必修

【履修年次】3年前期(30時間)後期(30時間)

【科目責任者】大和田猛、入江良平、大山博史、渡邊洋一、大竹昭裕、佐藤恵子、杉山克己、千葉たか子、増山道康、安田勉、山内修、石田賢哉、齋藤史彦、坂下智恵

【科目担当教員】大和田猛、入江良平、大山博史、渡邊洋一、大竹昭裕、佐藤恵子、杉山克己、千葉たか子、増山道康、安田勉、山内修、石田賢哉、齋藤史彦、坂下智恵

【科目目標】社会福祉問題の実態を分析し、判断していく、問題意識や分析能力を養い、同時に、問題解決手段としての幅広く柔軟な知的研究能力を養う。

【演習の内容】社会福祉問題や研究の方法については、個々の担当教員の専門領域や視点に応じて、文献研究を中心に、資料の模索、整理、プレゼンテーション、ディスカッションなどを交えながら展開する。

【演習方法】各個別教員が学生の受け入れ可能人数、テーマ、指導方針、内容などを明示し、学生が主体的に各教員と面談を行い、最終的に学生自身が教員を選択する。例えば、入江良平教授はユング心理学、受け入れ可能人数5名、佐藤恵子准教授は、女性問題を中心に男性問題及び、女性福祉関連領域、受け入れ可能人数5名、などのように、社会福祉学科の全教員が、4年時の卒業研究指導などと関連させながら指導を展開する。

【評価】各教員が、出席状況、レポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどをふまえて総合的に評価する。

【授業科目】社会福祉援助技術演習

【科目概要・形式】2単位 60時間 必修

【履修年次】3年前期(30時間)後期(30時間)

【科目責任者】大和田猛、増山道康、齋藤史彦

【科目担当教員】大和田猛、増山道康、齋藤史彦、加賀谷真紀

【科目目標】2年次に開講された社会福祉援助技術演習を基盤に、応用的、発展的に、3学年で開講される社会福祉援助技術現場実習、同実習指導に関連させながら、臨床的援助技術を習得させる。

【演習の内容】個別具体的な、高齢者、児童、身体障害者、知的障害者、生活困窮者、一般住民などの相談援助の過程を、アセスメント、ケア目標やケア計画の策定、サービス提供のためのケアカンファレンス、サービス提供のための連絡調整、モニター、アウトカムなどの理論枠組みに沿って、主に事例を中心にロールプレイなどを活用し、展開した。

【演習方法】個別学生の、社会福祉援助技術演習の種別ごとに、種別に関する専門的知識・技術及び倫理など、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を習得できるよう、事例検討ケアカンファレンス、サービス提供のための連絡調整、モニター、アウトカムなどの理論枠組みに沿って、主に事例を中心にロールプレイなどを活用し、展開した。

【評価】演習への参加状況と、レポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどにより、総合的に評価した。

【授業科目】社会福祉研究演習

【科目概要・形式】2単位 60時間 必修

【履修年次】4年前期（30時間）後期（30時間）

【科目責任者】大和田猛、入江良平、大山博史、渡邊洋一、大竹昭裕、佐藤恵子、杉山克己、千葉たか子、増山道康、安田勉、山内修、石田賢哉、齋藤史彦、坂下智恵

【科目担当教員】大和田猛、入江良平、大山博史、渡邊洋一、大竹昭裕、佐藤恵子、杉山克己、千葉たか子、増山道康、安田勉、山内修、石田賢哉、齋藤史彦、坂下智恵

【科目目標】実践科学としての社会福祉の専門知識・技術を基盤に、生活支援の実践者として、個別具体的な、社会福祉問題に対して、分析、判断できる力を養う。また、社会福祉専門職として、他職種と連携しつつクライアントの立場に立って、問題解決のためのさまざまな手段や資源を有効に活用できる力量を養う。

【演習の内容】個々の担当教員の専門分野や視点か

ら、演習を展開する。同時に、3年次に開講される社会福祉研究演習と連結して展開されるものであり、ソーシャルワーカーとしての、より高い実践能力と倫理観を養うことを目指して展開されるものである。

【演習方法】4年間の教育研究の集大成として開講される、卒業研究のテーマ、計画立案、データ収集、方法の確立などの研究プロセスを、きめ細かく指導しながら、演習の内容に即して、学生の社会福祉専門職としての力量を形成する。

【評価】各教員が、出席状況、レポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどをふまえて総合的に評価する。

【授業科目】精神保健福祉援助演習

【科目概要・形式】2単位 60時間・選択

【履修年次】4年通年

【科目責任者】坂下智恵

【担当教員】坂下智恵、石田賢哉、長谷川真理子

【科目目標】演習形態により具体的な事例を取り上げて検討するなかで、精神保健福祉士の専門的援助技術およびリハビリテーション技法についての理解を深め、身につけることを目標とする。学生自身が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を養うことを目的とする。

【演習の内容】精神保健福祉援助活動における個別援助技術、集団援助技術、地域援助技術、ケアマネジメント等の専門的援助技術の習得や、チームアプローチ、精神保健福祉士の職業倫理への理解が深まるよう、実技を活用しながら展開した。

【演習方法】精神保健福祉援助実習・と関連させることにより、実践と理論・知識を統合し、より実習体験が深まるよう展開した。具体的には、精神科医療機関および精神障害者社会復帰施設等の各機関や相談場面で必要となる精神障害者に対する援助技術およびリハビリテーション技法について、事例検討を中心にディスカッションやロールプレイ等を活用し展開した。

【評価】出席状況、レポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどにより、総合的に評価した。

実習報告

【授業科目】社会福祉援助技術現場実習

【科目概要・形式】4単位 180時間 選択

【履修年次】3年後期

【実習期間】2007年8月6日～9月14日（前半）2007年9月22日～10月4日（後半）

【実習形式】社会福祉士及び介護福祉士法に定められた実習施設のうち、本学の契約している実習施設（社会福祉施設・機関・団体等）における集中・分散型実習

【科目責任者】大和田猛

【科目担当教員】大和田猛、渡邊洋一、増山道康、齋藤史彦、山内修、加賀谷真紀、長谷川真理子

【実習目的】1. 学内で学んだ知識や理論を検証しながら深めていくとともに、社会福祉専門職（社会福祉士）として必要な実践力を修得する。

2. 実践現場における教員の援助活動を通して職業倫理を身につける。

3. 社会福祉専門職への自覚を高める。

【実習方法】原則として、1週間の中間指導（大学内）を挟み、前半2週間、後半2週間の集中・分散型実習形式で行った。また、本実習の前後には、社会福祉援助技術現場実習指導（2単位・30時間・選択）を配置し、配属実習先についてのスーパービジョンを行っている。

【実習内容】原則として、下記の通りであった。

8月6日～9月14日 配属実習（前半）

9月15日～9月21日 中間指導（大学内）

9月22日～10月4日 配属実習（後半）

*指導担当教員が、配属実習の前・後半に各1回ずつ巡回指導によるスーパービジョンを行った。

【評価】配属先から提出される評価表、実習レポート、実習ノート等を総合的に評価した。

【まとめ】学生は、実習体験を通して社会福祉専門職（社会福祉士）として仕事をするうえで必要な専門知識や専門技術、及び関連知識の内容の理解を深めることができた。また、これらの知識や技術を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を涵養することができた。さらに、職業倫理に基づいた行動や、専門的援助技術の概念化・理論化・体系化することの重要性を学習できたこと等、実習体験は学生の社会福祉専門職への自覚を高めるよい機会となった。

【授業科目】社会福祉援助技術現場実習指導

【科目概要・形式】1単位 45時間 必修

【履修年次】2年通年

【実習期間】2007年6月27日～6月28日

【実習形式】見学(体験)実習

【科目責任者】杉山克己

【科目担当教員】入江良平、佐藤恵子、杉山克己、千葉たか子、石田賢哉、加賀谷真紀、長谷川真理子

【実習目的】社会福祉援助技術現場実習指導は、社会福祉施設や相談・援助機関での配属実習（社会福祉援助技術現場実習）の準備教育として実施されるものである。したがって、社会福祉諸施設・機関の役割や沿革を理解する、実際の業務を見学・体験し、その概要を理解する、異職種間のスタッフの協働・連携を社会福祉の視点から知ることなどを目標とする。

【実習方法】児童福祉分野・高齢者福祉分野・知的障害者福祉分野（救護施設を含む）・身体障害者福祉分野からなる4分野の中より、学生が希望する異なった2分野の各1施設ずつ（計2施設）をそれぞれ1日ずつ訪問し、見学・体験実習を行った。

【実習内容】実習の事前学習では社会福祉施設・機関の理解を中心テーマに小グループでの協働作業を行った。また学内における介助・被介助体験を通じて、「援助する、される」ということに関して考えを深めるようにした。同時に、毎時間の活動記録を通じて、社会福祉実践活動における重要な「記録」についても学ぶことができるように配慮した。施設での実習は、施設指導者との連携のもとにできる限り直接利用者と触れ合い、利用者理解・職場理解そして自己理解が図れるように留意した。事後学習では、担当教員によるスーパービジョンを通じて、3年次の配属実習に向けての課題を明確化するようにした。

【評価】基本的には、レポート、出席状況をもとに、グループワークの活動状況などを勘案し担当者間で協議して決定した。

【まとめ】実習時期を前期に移動させての3年目であるが、学生や施設からも理解を得られ、概ねスムーズにいったと思う。また、本年度は実習内容でも触れたように記録の書き方を意図的に集中して指導した。この点についても、当初学生の間に戸惑いや理解不足があったが、レポートではその重要性等に言及したものが数多くみられ、成果が上がっているものと判断している。

【授業科目】社会福祉援助技術現場実習指導

【科目概要・形式】1単位 45時間 選択

【履修年次】3年通年

【実習期間】2007年4月1日～2007年12月31日

【実習形式】演習・実習指導

【科目責任者】大和田猛

【科目担当教員】大和田猛、渡邊洋一、増山道康、齋藤史彦、山内修、加賀谷真紀、長谷川真理子

【実習目的】社会福祉援助技術現場実習指導は、社会福祉施設や相談・援助機関での配属実習の事前教育として、主に実習計画書を作成し個々の実習に臨む問題意識や課題を整理しながら自己覚知に努めることを中心に指導を行う。実習期間中は中間指導として実習計画書の達成状況や課題、スーパービジョンが展開される。

さらに実習終了後は、事後教育として実習での問題意識や課題の達成度を振り返り、反省をふまえながら専門職としてのあり方を個々人が模索することを意図して指導が行われる。

【実習方法】原則として事前教育、中間指導、事後教育を通して専門職としての知識や技術、課題、自己覚知などについてスーパービジョンが展開される。

【実習内容】実習の事前指導では個々人が配属される実習施設や機関・団体の内容を理解することを中心にグループでの共同作業が行われる。実習計画書報告会などを通して、個々の実習に臨む知識や課題を整理する。実習中は教員が巡回指導を行い、実習地でスーパービジョンを行う。

中間指導では前半の実習の様子や課題の見直し、後半に向けての動機づけなどが指導された。実習終了後は個々の実習の体験や達成度などについて意見交換などを行い、臨地教授や現場の実習指導担当者などにも参加してもらい、社会福祉援助技術現場実習報告会を行った。

【評価】事前事後の実習指導に関する出席状況、レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、配属先での実習評価などをふまえて、総合的に評価した。

【授業科目】精神保健福祉援助実習

【科目概要・形式】1単位45時間・選択

【履修年次】3年後期

【実習期間】2008年2月12日～3月7日のうちの3日間を2クール

【実習形式】精神保健福祉士法に定められた実習施

設のうち、本学の契約している実習施設（精神科医療機関および精神障害者社会復帰施設等）における短期集中実習

【科目責任者】坂下智恵

【担当教員】坂下智恵、石田賢哉、長谷川真理子、加賀谷真紀

【実習目的】現場体験を通して精神保健福祉士として必要な知識及び技術、関連知識の理解を深める。精神障害者の置かれている現状や生活課題について理解する。医療機関、社会復帰施設の機能・役割について理解する。職業倫理を身につけ、専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。精神保健福祉援助実習の準備学習とする。

【実習方法】精神科医療機関4カ所および精神障害者社会復帰施設等6カ所の計10カ所において、各3日間の見学・体験型実習を行った。

【実習内容】現場での経験や現場指導者（精神保健福祉士）の指導および事前・事後指導や巡回指導によるスーパービジョンを通して、学生個々の課題を整理し考察を深め、次年度の精神保健福祉援助実習へ向けて問題意識や動機づけ、目標を定めた。

【評価】実習先から提出される評価表、実習日誌、レポート、事前事後の学習態度等を総合的に評価した。

【まとめ】学生は実習を通して、精神保健福祉士として必要な基本的事項について理解し、自己の問題意識や実習目的を明確にすることができた。また、精神障害者の現状や、施設・機関の機能、多職種・多機関との連携に関する理解を深めることができた。さらに、精神保健福祉士として必要とされる知識・技術・倫理が、実際の援助場面にもどのように結びつき、展開されているのかを学習することができた。

【授業科目】精神保健福祉援助実習

【科目概要・形式】5単位225時間・選択

【履修年次】4年通年

【実習期間】2007年4月16日～7月23日、8月6日～9月26日のうちの12日間程度を2クール

【実習形式】精神保健福祉士法に定められた実習施設のうち、本学の契約している実習施設（精神科病院および精神障害者社会復帰施設等）における集中・分散型実習

【科目責任者】坂下智恵

【担当教員】坂下智恵、石田賢哉、長谷川真理子、

加賀谷真紀

【実習目的】 実習を通して精神保健福祉士として必要な倫理、価値および知識、技術の理解をより深める。また、それらを実際に活用し、精神障害者に対する相談援助・リハビリテーションについて必要な資質・能力・技術の獲得を図る。精神保健福祉援助実践の中で、医療機関・施設・地域での精神障害者本人を中核とした支援の実際、および多職種連携のあり方、その技術などを学ぶ。実習での体験、援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し体系立て考察していく能力を涵養する。精神保健福祉士として自己覚知できる能力を養う。

【実習方法】 精神科医療機関 3 カ所および精神障害者社会復帰施設等 4 カ所の計 7 カ所において実施した。それぞれにおいて、週 1～2 回の実習を継続的に 12 日間程度行う分散型実習、もしくは、連続した 12 日間程度の集中実習を行う集中型実習のいずれかの形態で実施した。

【実習内容】 精神保健福祉援助実習 をもとに、学生個々が課題・目標を設定し、現場での経験や現場指導者（精神保健福祉士）の指導、および、事前・事後指導や巡回指導によるスーパービジョンを通して、考察を深めた。

【評価】 実習先から提出される評価表、実習日誌、レポート、事前事後の学習態度等を総合的に評価した。

【まとめ】 学生は実習を通して、精神障害者とその生活、精神保健福祉関係機関の役割・機能について理解を深め、また、精神保健福祉士の支援活動の実際を体験し、学生個々の問題意識や課題に向き合うことで、精神保健福祉領域における社会福祉専門職としての基礎的支援能力を涵養することができた。

演習報告

【授業科目】情報とネットワーク

【科目概要・様式】2単位，60時間，必修科目

【履修年次】1年次前期

【科目責任者】山田真司

【担当教員】山田真司，熊谷貴子

【演習目的】大学生活において必要となる情報リテラシーを身に付けることを目的とする．具体的にはこの授業ではソフトやハードの連携を中心テーマにおいて，データベース，ワープロ，表計算，プレゼンテーション，メール，ブラウザの各ソフトの使い方，主要なハードウェアの使い方を習得することが目的である．

【演習方法】情報処理教室におけるパーソナル・コンピュータおよび周辺機器，ソフトウェアを用いて週1回連続2コマという形態で，13週にわたって実施した．

【演習内容】初めに情報システムの使用規定や情報倫理，そして学内の情報システムへのアクセス法，PCの基本操作，ブラウザの使い方，メールの使い方を習得し，学内情報システムを利用できる能力を養成した．次に主要なアプリケーションソフトの使い方，外部記録メディア(フロッピーディスク，CD，DVD，USBメモリ)の使い方について集中的に演習を行った．最後にこれらの技能を連携させてWebページ作成の演習を行った．

【評価】出席状況，各回の課題提出状況，および試験によって総合的に評価した．

【まとめ】情報リテラシーは必ずしも固定的なものではなく，学科に合わせて慎重に選定されるべきものであるが，さらには入学生の素養も考慮しなければならない．情報科目は既に高等学校において必修とされているが，入学生の現況には大きなばらつきが見られる．高等学校における取り扱いが十分に確定するまでは本科目における教育目標の検討は欠かせないものと思われる．

平成19年度 臨地教授等一覧

臨地教授

学科名	氏名	所属	期間
看護学科	熊野 則子	青森県立中央病院 看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	増山 静子	青森県立中央病院 看護局次長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	相坂 三紀子	青森市民病院 看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	小田原 恵子	青森市民病院 副看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	東 孝子	青森市民病院 管理看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	斎藤 貞子	青森市民病院 管理看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	津島 百合子	青森市民病院 管理看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	千葉 とく	青森市民病院 管理看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	木村 香	青森市民病院 主任看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	野村 美恵子	あおもり協立病院 総看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	西堀 順子	公立野辺地病院 総看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	中島 玲子	十和田市立中央病院 看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	中里 志保子	八戸市立市民病院 看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	舩木 悦子	むつ総合病院 看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	齋藤 トミ子	五所川原市立西北中央病院 看護部長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	斎藤 文子	青森県立つくしが丘病院 看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	太田 幸子	青森県立つくしが丘病院 看護局次長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	竹内 秀樹	芙蓉会病院 部長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	佐々木 常夫	芙蓉会病院 科長	19.4.1 ~ 20.3.31

学科名	氏名	所属	期間
看護学科	井沼 登志子	五所川原市健康推進課 課長補佐	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	佐藤 淳子	黒石市健康推進課 課長補佐	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	佐々木 庸子	むつ市健康推進課 医療主幹	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	鈴木 良子	八戸市健康増進課 主幹	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	成田 薫子	三沢市健康ふれあい課 係長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	新井山 洋子	十和田市健康推進課 課長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	工藤 千恵子	健生訪問看護ステーションたまち	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	寺地 栄	生協訪問看護ステーション虹 所長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	小山 ちえ子	ねんりん訪問看護ステーション 所長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	嶋口 みどり	訪問看護ステーションやよい 所長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	佐々木 則子	みちのく訪問看護ステーション 所長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	牧野 里子	八戸市医師会訪問看護ステーション 所長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	浦田 栄里子	三沢訪問看護ステーション 所長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	泉 美紀子	訪問看護ステーションあおい森 所長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	伊藤 和夫	あおもり協立病院 技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	菅原 巳代治	厚生連仙北組合総合病院 総括技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	菊池 詞	いわてリハビリテーションセンター 機能回復療法部副部長	19.4.1 ~ 20.3.31
社会福祉学科	長尾 春光	特別養護老人ホーム弘前静光園 園長	19.4.1 ~ 20.3.31
社会福祉学科	山口 俊輔	児童養護施設 幸樹園 園長	19.4.1 ~ 20.3.31
社会福祉学科	藤元 隆	身体障害者療護施設 第二うちがた 園長	19.4.1 ~ 20.3.31
社会福祉学科	石田 康正	青森精神医学研究所 理事長	19.4.1 ~ 20.3.31

学科名	氏 名	所 属	期 間
社会福祉学科	渡 辺 修 一	黒石市社会福祉協議会 事務局長	19.4.1 ~ 20.3.31

臨地准教授

学科	氏 名	所 属	期 間
看護学科	太 田 厚 子	青森県立中央病院 看護局次長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	鳴 海 ゆき子	青森県立中央病院 看護班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	植 村 れい子	青森県立中央病院 看護班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	中 堀 万喜子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	三 上 紀 子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	山 内 留美子	青森県立中央病院 看護班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	芳 谷 輝 子	青森県立中央病院 看護指導監	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	佐 藤 千 夏	あおもり協立病院 副総看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	副 田 幸 子	あおもり協立病院 副総看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	三津谷 靖子	生協さくら病院 総看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	前 田 ひとみ	公立野辺地病院 副総看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	大 山 庄 子	公立野辺地病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	四 戸 まるみ	公立野辺地病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	橋 本 恵 子	公立野辺地病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	山 端 澄 子	十和田市立中央病院 副看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	中 村 美代子	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	橋 本 明 美	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	小 原 木 彰	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31

学科名	氏名	所属	期間
看護学科	千葉 睦子	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	横山 裕子	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	築場 理利子	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	小林 秀子	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	松本 誠子	十和田市立中央病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	吉田 留美子	八戸市立市民病院 副看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	菅原 ふみ子	八戸市立市民病院 副看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	有澤 葉子	八戸市立市民病院 副看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	鈴木 栄子	八戸市立市民病院 副室長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	林 利智子	八戸市立市民病院 副看護局長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	奥崎 大	生協さくら病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	後藤 美砂緒	生協さくら病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	勝野 祥子	生協さくら病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	須藤 記且	生協さくら病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	橘 千景	生協さくら病院 副総看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	沢田 浩司	生協さくら病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	若松 みゆき	青森県立つくしが丘病院 外来看護班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	木村 恵子	青森県立つくしが丘病院 主幹看護師・班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	相馬 儀子	青森県立つくしが丘病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	大平 和子	青森県立つくしが丘病院 総括主幹看護師・班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	川浪 久子	青森県立つくしが丘病院 主幹看護師・班長	19.4.1 ~ 20.3.31

学科名	氏名	所属	期間
看護学科	工藤 智恵子	青森県立つくしが丘病院 総括主幹看護師・班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	柿崎 紀子	青森県立つくしが丘病院 主幹看護師・班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	杉田 正	芙蓉会病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	駒井 善憲	芙蓉会病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	山崎 松弘	芙蓉会病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	小山内 義美	芙蓉会病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	植村 康子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	田中 修子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	浦田 浩美	青森市健康づくり推進課(西部市民センター) 主幹	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	米谷 真紀子	つがる市健康推進課 主幹	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	高野 紀子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	木村 恵子	八戸赤十字病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	福地 裕子	介護老人保健施設すずかけの里 看護部長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	中川 孝子	介護老人保健施設ニューライフ芙蓉 ケア包括部長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	山田 伸	青森県立中央病院 リハビリテーション科 主査	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	中西 功悦	青森市民病院 主任理学療法士	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	相馬 光明	むつ総合病院 技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	櫻庭 満	五所川原市立西北中央病院 技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	後藤 明教	黒石国民健康保険黒石病院 技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	佐藤 比呂子	医療法人ときわ会ときわ会病院 リハビリテーション科副科長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	山田 朋子	介護老人保健施設みちのく青海荘 主任理学療法士	19.4.1 ~ 20.3.31

学科名	氏名	所属	期間
理学療法学科	小村 博	重度身体障害者更生援護施設津麦園 業務部長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	中村 正直	むつりハビリテーション病院	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	柿崎 智子	介護老人保健施設青森ナーシングライフ	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	小島 俊夫	健生病院 リハビリテーション科技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	佐々木 千賀子	青森県立はまなす医療療育センター	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	長谷川 至	なかざわスポーツクリニック リハビリテーション科 科長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	高橋 仁美	市立秋田総合病院 技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	中野 博明	秋田県立太平療育園 科長補佐	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	松橋 一義	厚生連湖東総合病院	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	斎藤 功	羽後町立羽後病院	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	坂田 徳隆	JA 秋田厚生連雄勝中央病院 リハビリテーションセンター副技師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	長谷川 弘一	秋田県立リハビリテーション精神医療センター 医療部機能訓練科 主査	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	諸橋 勇	いわてリハビリテーションセンター 理学療法科長	19.4.1 ~ 20.3.31
社会福祉学科	三上 富士子	知的障害者更生施設 さくら園 支援係長	19.4.1 ~ 20.3.31

臨地講師

学科	氏名	所属	期間
看護学科	越後 雅子	青森県立中央病院 看護班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	長利 悦子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	成田 美保子	青森県立中央病院 看護班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	原子 アサ子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31

学科名	氏名	所属	期間
看護学科	渡辺 薫	青森県立中央病院 看護班長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	斉藤 静子	あおもり協立病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	高森 牧子	あおもり協立病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	扇屋 弥生	あおもり協立病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	藤原 洋子	あおもり協立病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	太田 明子	あおもり協立病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	川村 明美	公立野辺地病院 総括主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	松村 明美	公立野辺地病院 総括主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	田荷 美紀子	公立野辺地病院 主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	島谷 綾子	公立野辺地病院 主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	船橋 美賀子	公立野辺地病院 総括主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	田中 功	生協さくら病院 主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	坂本 由美子	生協さくら病院 主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	最上 正一	生協さくら病院 看護師(実習指導者)	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	近江 光子	生協さくら病院 看護師(実習指導者)	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	諏訪 真生	生協さくら病院 看護師(実習指導者)	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	長牛 真理	生協さくら病院 主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	矢内 佳伸	生協さくら病院 主任	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	村上 みき	生協さくら病院 看護師(実習指導者)	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	古川 純子	青森県立つくしが丘病院 主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	築館 貴美	青森県立つくしが丘病院 主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31

学科名	氏名	所属	期間
看護学科	小林 ひろ子	青森県立つくしが丘病院 主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	加藤 祐子	青森県立つくしが丘病院 主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	沼館 友子	青森県立中央病院 総括主幹看護師	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	奈良原 恵	あおもり協立病院 看護長	19.4.1 ~ 20.3.31
看護学科	大崎 美紀子	八戸市立市民病院 看護師長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	須藤 真史	(財)黎明郷 弘前脳卒中センター 主任	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	大沢 由貴	青森慈恵会病院 リハビリテーション科 部長	19.4.1 ~ 20.3.31
理学療法学科	川口 晴美	浪打病院 理学療法士	19.4.1 ~ 20.3.31

海 外 交 流

理学療法学科

**藤田智香子，長門五城，李相潤，勘林秀行，
橋本淳一，福島真人**

1. 韓国インジェ大学校→青森県立保健大学
平成19年7月10日(火)～8月7日(火))

韓国インジェ大学校物理治療科3年生4名と
教員1名が来学した。前半約10日間は本学
学生と交流を深めると共に学内で講義・実習
を受講したり，病院・施設見学を行った。後
半の2週間は，黎明郷リハビリテーション病
院等での研修を行い，日本での理学療法の現
状を学んだ。

2. 青森県立保健大学→韓国インジェ大学校
平成18年8月22日(水)～9月5日(水)

本学理学療法学科3年生3名と教員2名が
訪韓した。学生は2週間インジェ大学校附属
パク病院で研修を行い，韓国での理学療法
の現状を学ぶと共にインジェ大学校の学生と交
流を深めた。

平成20年度入学者選抜結果

◆ 選抜状況

【看護学科】

健康科学部 単位：人

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数	
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計		
A O 入 試	一 般	5	47	47	7	0	7	7	
	特 別 活 動	1	0	0	0	0	0	0	
特別選抜	一 般 推 薦	県内高校	30	49	49	30	0	30	30
		県外高校	5	14	14	5	0	5	5
	社 会 人	2	3	3	2	0	2	2	
	帰 国 子 女 等	1	0	0	0	0	0	0	
	私 費 外 国 人 留 学 生	1	0	0	0	0	0	0	
一般選抜	前 期 日 程	47	98	93	53	0	53	52	
	後 期 日 程	8	99	30	10	0	10	10	
計		100	310	236	107	0	107	106	

【理学療法学科】

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数	
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計		
A O 入 試		2	33	33	2	0	2	2	
特別選抜	一 般 推 薦	県内高校	8	28	28	9	0	9	9
		県外高校	2	11	11	2	0	2	2
	社 会 人	2	8	8	2	0	2	2	
一般選抜	前 期 日 程	16	34	34	16	0	16	16	
計		30	114	114	31	0	31	31	

【社会福祉学科】

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数	
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計		
A O 入 試		4	21	21	4	0	4	4	
特別選抜	推 薦	一般推薦 県内高校	10	14	14	10	0	10	10
		専門高校・総合学科推薦	1	2	2	1	0	1	1
	社 会 人	3	0	0	0	0	0	0	
	私 費 外 国 人 留 学 生	1	0	0	0	0	0	0	
一般選抜	前 期 日 程	25	44	44	30	0	30	26	
	後 期 日 程	6	60	15	13	0	13	12	
計		50	141	96	58	0	58	53	

【栄養学科】

選 抜 区 分		募集人員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数			入 学 者 数
					一 次 合 格 者	追 加 合 格 者	計	
特別選抜	一 般 推 薦 県内高校	6	30	30	6	0	6	6
一般選抜	前 期 日 程	20	52	50	21	0	21	19
	後 期 日 程	4	38	21	6	0	6	6
計		30	120	101	33	0	33	31

◆ 入学者の内訳

単位：人

区 分	入学者数	県内外者の内訳		男女の内訳		現役・浪人・社会人の内訳	
		県内者	県外者	男 性	女 性	現 役	浪人・社会人
看護学科	106	76	30	23	83	99	7
理学療法学科	31	19	12	14	17	26	5
社会福祉学科	53	35	18	13	40	52	1
栄養学科	31	19	12	2	29	29	2
計	221	145	76	52	169	206	15

◆ 都道府県別志願・合格状況等

単位：人

都道府県等	志願者数	合格者数	入学者数
北海道	67	29	28
東 北 地 方	青森県	434	145
	岩手県	55	14
	宮城県	7	2
	秋田県	57	15
	山形県	23	11
	福島県	10	4
	関 東 地 方	茨城県	4
栃木県		5	1
群馬県		1	1
千葉県		1	1
東京都		1	1
中 部 地 方	新潟県	3	1
	富山県	1	0
	石川県	1	0
	福井県	1	0
	長野県	2	2
	静岡県	3	0
愛知県	2	0	

都道府県等	志願者数	合格者数	入学者数
近畿地方 兵庫県	1	0	0
九 州 地 方	福岡県	1	0
	長崎県	1	0
	熊本県	3	1
	沖縄県	1	0
合 計	685	229	221

志願者のいない都道府県は除いている。

平成20年度編入学者選抜試験合格者数

< 志願者数・受験者数・合格者数 >

	募集人員	志願者		受験者数	合格者		
		志願者数	志願倍率		合格者数	うち追加合格者	実質倍率
看護	10	26	2.6	26	12	2	2.2
理学療法	2	0	0.0	0	0	0	0.0
社会福祉	4	3	0.8	3	1	0	0.0
合計	16	29	1.8	29	13	2	2.2

< 合格者の内訳 >

	卒業（見込み）			その他	合計
	専修学校	短期大学	大学・高専		
看護	10	2	0	0	12
理学療法	0	0	0	0	0
社会福祉	0	1	0	0	1
合計	10	3	0	0	13

	男	女	合計
看護	0	12	12
理学療法	0	0	0
社会福祉	0	1	1
合計	0	13	13

	県内	県外	合計
看護	6	6	12
理学療法	0	0	0
社会福祉	1	0	1
合計	7	6	13

出身高校所在地で算定

平成 19 年度卒業生の進路

第 6 期生の就職状況

就 職 率

学 科	卒業生数	就職希望者	就 職 者		内定率
			県 内	県 外	
看 護 学 科	109	105 進学者 4	34	71	100.0%
			計 105		
			9	7	
理 学 療 法 学 科	21	19 進学者 1	9	7	84.2%
			計 16		
			30	7	
社 会 福 祉 学 科	41	39 進学者 2	30	7	94.9%
			計 37		
			73	85	
合 計	171	164 進学者 7	73	85	96.9%
			計 158		

就職率 = 就職者数 ÷ 就職希望者数

第 6 期生の就職・進学先

【看護学科】

所在地	施 設 名	人員	進 路
北 海 道	(社福)函館厚生院 函館五稜郭病院(看護師)	1	就職
"	札幌市職員(保健師)	1	"
"	北海道大学病院(看護師)	3	"
"	札幌医科大学医学部附属病院(看護師)	1	"
"	KKR札幌医療センター	1	"
青 森 県	青森県(看護師)	10	"
"	(財)青森県総合検診センター	1	"
"	青森県立保健大学大学院	1	進学
"	(医法)慈恵会 青森慈恵会病院(看護師)	1	就職
"	十和田市(看護師)	3	"
"	大間町(保健師)	1	"
"	青森県職員(保健師)	1	"
"	弘前大学医学部附属病院(看護師)	2	"
"	国立病院機構 青森病院(看護師)	1	"
"	国立病院機構 弘前病院(看護師)	1	"
"	青森市(保健師)	2	"
"	青森保健生活協同組合(看護師)	2	"
"	青森保健生活協同組合(助産師)	1	"
"	八戸市(看護師)	5	"
"	八戸赤十字病院(看護師)	3	"

所在地	施設名	人員	進路
岩手県	岩手県医療局	2	〃
〃	岩手医科大学病院	3	〃
〃	盛岡赤十字病院	1	〃
宮城県	東北大学病院(看護師)	2	〃
〃	(財)厚生会 仙台厚生病院(看護師)	5	〃
〃	仙台赤十字病院	1	〃
秋田県	J A秋田県厚生連(看護師)	1	〃
〃	秋田大学医学部附属病院(看護師)	1	〃
〃	市立秋田総合病院(看護師)	1	〃
山形県	山形県職員(看護師)	1	〃
〃	山形大学医学部附属病院(看護師)	2	〃
〃	山形大学教育学部養護教諭特別別科	1	進学
福島県	総合南東北病院(保健師)	2	就職
〃	福島県立医科大学附属病院	1	〃
茨城県	茨城県立医療大学大学院	1	進学
埼玉県	自治医科大学附属さいたま医療センター(看護師)	1	就職
〃	上尾中央総合病院	1	〃
千葉県	(医法)鉄薫会 亀田総合病院(看護師)	1	〃
〃	東京歯科大学市川総合病院(看護師)	1	〃
〃	千葉徳洲会病院	1	〃
〃	国保旭中央病院	1	〃
東京都	東京医科大学附属病院(看護師)	1	〃
〃	杏林大学病院(看護師)	1	〃
〃	順天堂大学医学部附属順天堂医院(看護師)	3	〃
〃	聖路加国際病院(看護師)	1	〃
〃	東京医科大学八王子医療センター	2	〃
〃	東京慈恵会医科大学附属病院(本院)(看護師)	3	〃
〃	東邦大学医療センター 大森病院(看護師)	2	〃
〃	東邦大学医療センター 大橋病院(看護師)	1	〃
〃	日本医科大学付属病院(看護師)	2	〃
〃	国立成育医療センター	1	〃
〃	武蔵野赤十字病院	2	〃
〃	池上総合病院	1	〃
〃	城南福祉医療協会 大田病院	1	〃
〃	根岸病院	2	〃
〃	東京臨海病院	1	〃
〃	東京労災病院	1	就職
神奈川県	(独法)横浜労災病院(看護師)	1	〃
〃	横浜市立大学附属市民総合医療センター	2	〃
〃	横浜市立大学附属病院	1	〃
〃	済生会横浜市東部病院	2	〃
〃	相模ヶ丘病院	1	〃
新潟県	新潟大学医歯学総合病院	1	〃
〃	新潟大学養護教諭特別別科	1	進学
兵庫県	神戸大学医学部附属病院(看護師)	1	就職
鳥取県	鳥取赤十字病院	1	〃

【理学療法学科】

所在地	施設名	人員	進路
青森県	(財)シルバーリハビリテーション協会 シルバー病院	1	就職
"	青森市職員(理学療法士)	2	"
"	医療法人 芙蓉会	2	"
"	黎明郷リハビリテーション病院	1	"
"	あおり協立病院	2	"
"	尾野病院	1	"
岩手県	総合花巻病院	1	"
宮城県	石巻赤十字病院	1	"
福島県	独立行政法人 国立須賀川病院	1	"
群馬県	渋川中央病院	1	"
埼玉県	国立身体障害者リハビリテーションセンター	1	進学
"	埼玉医科大学病院	1	就職
長野県	桔梗ヶ原病院	1	"
愛知県	総合上飯田第一病院	1	"

【社会福祉学科】

所在地	施設名	人員	進路
北海道	(社福)神愛園 (介護職)	1	就職
"	(株)かんぼ生命保険	1	"
青森県	(医法)ときわ会 ときわ会病院 (相談職)	1	"
"	(医法)杏林会 (相談職)	1	"
"	(医法)青仁会 (相談職)	1	"
"	(社福)弘前愛成園(生活相談員)	1	"
"	(社福)七峰会 (相談職、介護職)	1	"
"	(医法)誠仁会 尾野病院 (相談職)	1	"
"	(医法)清照会 湊病院 (相談職)	1	"
"	青森県すこやか福祉事業団	5	"
"	特別養護老人ホーム清風荘(介護職)	1	"
"	老人介護保健施設 いちい荘 (相談職)	1	"
"	(財)黎明郷 黎明郷リハビリテーション病院(MSW)	1	"
"	(医法)白鷗会 まちだ訪問入浴サービス (介護職)	1	"
"	青森総合警備保障(株)	1	"
"	介護老人保健施設 やすらぎ苑 (相談職)(介護職)	1	"
"	津軽保健生活協同組合 (相談職)	1	"
"	(社福)秋葉会 特別養護老人ホーム 彩香園アルテリーベ	1	"
"	介護老人保健施設 みのり苑	1	"
"	(有)やすらぎケアハウス (介護職)	1	"
"	知的障害者更生施設 のぞみ園 (支援員)	1	"
"	知的障害者更生施設 みらいの里	1	"
"	藤聖母園(児童指導員)	1	"
"	介護老人保健施設 やすらぎ苑 (相談職)	1	"
"	青森県社会福祉協議会	1	"
"	明治安田生命保険(相)	1	"
"	株式会社ヨーク商事	1	"
"	介護老人保健施設 サンライフかなぎ (相談職)	1	"

所在地	施設名	人員	進路
岩手県	(株)薬王堂	1	〃
宮城県	仙台医療福祉専門学校言語聴覚科	1	進学
埼玉県	(社福)貴親会 (介護職)	1	就職
東京都	東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科	1	進学
〃	NPO法人 いたばし	1	就職
神奈川県	藤田観光(株)	1	〃
〃	富士工業(株)	1	〃

青森県立保健大学大学院博士前期課程 平成 19 年度授業時間割 (1 年次前期開講科目)

曜日	1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:30~18:50	7 19:00~20:20
月	研究方法論(昼) 【佐藤秀紀・竹森・上泉】 (5/7、5/14、5/28、 6/18、6/25、7/2) 【C棟研修室2】	研究方法論(昼) 【佐藤秀紀・竹森・上泉】 (5/7、5/14、5/28、 6/18、6/25、7/2) 【C棟研修室2】	食品栄養学特論【松江・岩井】 (5/7、5/21、6/11、6/18、 7/2、7/9、7/23) 【大学院会議室】	食品栄養学特論【松江・岩井】 (5/7、5/21、6/11、6/18、 7/2、7/9、7/23) 【大学院会議室】		研究方法論(夜) 【佐藤秀紀・竹森・上泉】 (5/7、5/14、5/28、6/18、 6/25、7/2) 【C棟研修室4】 統計学【山田】 (5/21、6/11) 【C棟研修室4】 ケアマネジメント特論(夜) 【大和田】 (7/9、7/23) 【C棟研修室4】	研究方法論(夜) 【佐藤秀紀・竹森・上泉】 (5/7、5/14、5/28、6/18、6/25、 7/2) 【C棟研修室4】 統計学【山田】 (5/21、6/11) 【C棟研修室4】 ケアマネジメント特論(夜) 【大和田】 (7/9、7/23) 【C棟研修室4】
火				地域福祉学特論【渡邊】 (5/22、6/5、6/12、6/26、 7/3、7/10、 7/17) 【C棟研修室2】	地域福祉学特論【渡邊】 (5/22、6/5、6/12、 6/26、7/3、7/10) 【C棟研修室2】 人体病理学特論【吉村】 (7/17) 【C棟研修室2】	在宅ケア論【佐藤秀紀、川口】 (5/22、6/5、6/26、7/10、 7/24) 【C棟研修室4】 母子家族看護学特論【中村由美子・ 新道】 (5/8、5/22、6/5、6/19、7/3)	在宅ケア論【佐藤秀紀、川口】 (5/22、6/5、6/26、7/10) 【C棟研修室4】 母子家族看護学特論【中村由美子・ 新道】 (5/8、5/22、6/5、6/19、)
水				保健福祉政策学特論【原田】 (5/30) 【C棟研修室2】	保健福祉政策学特論 【原田】 (5/30) 【C棟研修室2】	統計学【山田】 (4/25、5/2、5/16、6/13) 【C棟研修室4】 看護理論特論【大串・大関・川村・ 上泉・深谷・石鍋・中村由美子・ リボウィツ・大井】 (5/9、5/23、6/6、6/20、7/4、 7/18、7/25) 【C棟研修室4】	統計学【山田】 (4/25、5/2、5/16、6/13) 【C棟研修室4】 看護理論特論【大串・大関・川 村・上泉・深谷・石鍋・中村由美 子・ リボウィツ・大井】 (5/9、5/23、6/6、6/20、7/4、 7/18、) 【C棟研修室4】 保健福祉政策学特論【原田】 (5/30) 【C棟研修室2】
木			看護倫理学【横尾】 (7/19) 【C棟研修室2】	看護倫理学【横尾】 (7/19) 【C棟研修室2】	看護倫理学【横尾】 (7/19) 【C棟研修室2】	在宅ケア論【藤井・大山・田崎】 (4/26、5/17、5/31、6/14、 6/28、7/12) 【C棟研修室3】 看護組織行動学特論【上泉】 (5/10、5/24、6/7、6/21、7/5、 7/19、7/26)	在宅ケア論【藤井・大山・田崎】 (4/26、5/17、5/31、6/14、 6/28、7/12、7/26) 【C棟研修室3】 看護組織行動学特論【上泉】 (5/10、5/24、6/7、6/21、7/5、 7/19)
金	看護倫理学【志自岐】 (7/13) 【A棟A107】	看護倫理学【志自岐】 (7/13) 【A棟A107】	看護倫理学【志自岐】 (7/13) 【A棟A107】	看護倫理学【志自岐】 (7/13) 【A棟A107】	ケアマネジメント特論 (昼)【大和田】 (5/11、5/18、6/1、 6/22、7/13) 【大学院会議室】 臨床薬理学特論【立石】 (6/15、6/29、7/13) 【大学院会議室】	アドバンスト・ヘルスアセスメント 【角濱】 (4/27、5/11、5/18、5/25、6/8、 6/22、7/13) 【A棟3F フィジカルイグザミネーシ ョンルーム】 臨床薬理学特論【立石】 (6/15、6/29、7/13、7/20、 7/27) 【大学院会議室】	アドバンスト・ヘルスアセスメント 【角濱】 (4/27、5/11、5/18、5/25、6/8、 6/22) 【A棟3F フィジカルイグザミネーシ ョンルーム】 臨床薬理学特論【立石】 (6/15、6/29、7/13、7/20、 7/27) 【大学院会議室】
土	看護倫理学【横尾】 (7/20) 【C棟研修室2】	看護倫理学【横尾】 (7/20) 【C棟研修室2】	看護倫理学【横尾】 (7/20) 【C棟研修室2】	看護教育論【五十嵐】 (5/25、6/15) 【C棟研修室2】	看護教育論【五十嵐】 (5/25、6/15) 【C棟研修室2】	高齢者生活支援看護学特論 【石鍋・川村】 (6/1、6/15、6/29、7/13、7/20、 7/27)	高齢者生活支援看護学特論 【石鍋・川村】 (6/1、6/15、6/29、7/13、7/20、7/ 27)
	保健福祉政策学特論【星】 (5/26) 【C棟研修室2】	保健福祉政策学特論【星】 (5/26) 【C棟研修室2】	保健福祉政策学特論【星】 (5/26) 【C棟研修室2】	ケアマネジメント特論【新津】 (9/8) 【C棟研修室4】	ケアマネジメント特論【新津】 (9/8) 【C棟研修室4】	ケアマネジメント特論 【新津】 (9/8) 【C棟研修室4】	
	看護倫理学【志自岐】 (7/14) 【A棟A107】	看護倫理学【志自岐】 (7/14) 【A棟A107】	看護倫理学【志自岐】 (7/14) 【A棟A107】	在宅ケア論【安田】 (7/7、7/28) 【C棟研修室4】	在宅ケア論【安田】 (7/7、7/28) 【C棟研修室4】		
			母子家族看護学特論【室月】 (6/30、9/1) 【暫定】 【C棟研修室4】	母子家族看護学特論【室月】 (6/30、9/1) 【暫定】 【C棟研修室4】	看護教育論ゲストスピーカー (7/21) 【C棟研修室4】		

・保健福祉政策学特論【川村】 5コマについては、別途日程調整

<集中講義予定>

小児家族看護学演習【筒井】(9/3月、9/4火) 【暫定】 【C棟研修室2】
地域社会学特論【平川】(9/25火、9/26水、9/27木、9/28金) 【C棟研修室2】
病態/治療管理論【浅利】(8/20月)
クリティカルケア特論【黒田】(別途日程調整)
救急・クリティカルケア看護学特論【渡辺孝子】(9/27木、9/28金) 【暫定】 【大学院会議室】

- ・土曜日は非常勤講師の講義のみ開講。
- ・共通科目：、専門支持科目(必修科目)：
- ・共通科目及び専門支持科目(分野必修科目)の専任教員担当部分は昼夜開講。
- ・ただし、科目毎に昼夜どちらかに整理することもある。
- ・特別研究は、1年次であっても2単位相当分の指導を行う(2年次は6単位相当分)。講義日時は、月～金曜日のうち研究指導教員と院生が相談のうえ決定する。
- ・諸般の事情により、時間割を変更する場合もある。

青森県立保健大学大学院博士前期課程 平成 19 年度授業時間割 (1 年次後期開講科目)

時間 曜日	1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:30~18:50	7 19:00~20:20
月						地域保健活動学特論【竹森・山本】 精神保健学特論【藤井・大山】 地域高齢者保健学特論 【佐藤秀紀・山下・佐藤秀一・川口】 機能形態学特論【鈴木】 健康・栄養ケア特論【藤田修三】 食生活科学特論【松江・岩井】 高齢者リハビリテーション看護学 演習【石鍋】 以上 7 科目 (10/15,10/29,11/12,11/26, 12/10,1/7,1/21) 小児家族看護学演習 【中村由美子】 (10/15,10/29,11/5,11/19, 12/3,12/17,1/7,1/21,1/28)	地域保健活動学特論【竹森・山本】 精神保健学特論【藤井・大山】 地域高齢者保健学特論 【佐藤秀紀・山下・佐藤秀一・川口】 機能形態学特論【鈴木】 健康・栄養ケア特論【藤田修三】 食生活科学特論【松江・岩井】 高齢者リハビリテーション看護学 演習【石鍋】 以上 7 科目 (10/15, 10/29, 11/12, 11/26,12/10,1/7) 小児家族看護学演習 【中村由美子】 (10/15,10/29,11/5,11/19, 12/3,12/17, 1/7,1/21,1/28)
火						看護管理学【上泉・味 ヴィツ】 (10/16,10/30,11/13,11/27, 12/11,1/15, 1/29)【C 棟研修室 4】 人体機能解剖学特論(夜) 【鈴木孝夫】 (10/23,11/6,11/20,12/4, 12/18,1/8,1/22) 【B 棟 B307】 機能障害・回復学特論【成田・岩月・ 渡部一郎】 (10/16,10/30,11/13,11/27, 12/11,1/15,1/29) 看護システム開発論 【リボウィッツ】 (10/23,11/6,11/20,12/4, 12/18,1/8,1/22) 救急・クリティカルケア看護学特論 【深谷・平尾】 (10/23,11/6,11/20,12/4, 12/18)	看護管理学【上泉・味 ヴィツ】 (10/16,10/30,11/13,11/27, 12/11,1/15) 【C 棟研修室 4】 人体機能解剖学特論(夜) 【鈴木孝夫】 (10/23,11/6,11/20,12/4, 12/18,1/8) 【B 棟 B307】 機能障害・回復学特論【成田・岩月・ 渡部一郎】 (10/16,10/30,11/13,11/27, 12/11,1/15) 看護システム開発論 【リボウィッツ】 (10/23,11/6,11/20,12/4, 12/18,1/8) 救急・クリティカルケア看護学特論 【深谷・平尾】 (10/23,11/6,11/20,12/4)
水	国際母子保健学(昼)【大関】 (10/24,11/14,11/28, 12/12,1/9,1/16,1/30) 【大学院会議室】 カウンセリング特論(安田) (10/17,10/31,11/14, 11/28) 【C 棟研修室 2】	国際母子保健学(昼)【大関】 (10/24,11/14,11/28, 12/12,1/9,1/16) 【大学院会議室】 カウンセリング特論(安田) (10/17,10/31,11/14) 【C 棟研修室 2】		臨床栄養学特論(金澤) (10/17,10/31,11/14,1 1/28,12/12, 1/9)【C 棟研修室 2】	臨床栄養学特論(金澤) (10/17,10/31,11/14,1 1/28,12/12, 1/9,1/23)【C 棟研修室 2】	国際母子保健学(夜)【大関】 (10/24,11/14,11/28,12/12, 1/9,1/16,1/30) 【C 棟研修室 4】 栄養指導論【渡部一代】 (10/31,11/7,12/5,12/19) 【C 棟研修室 4】 福祉臨床学特論【大山】 (10/24,11/14,11/28,12/12, 1/9,1/16,1/30)	国際母子保健学(夜)【大関】 (10/24,11/14,11/28,12/12, 1/9,1/16) 【C 棟研修室 4】 栄養指導論【渡部一代】 (10/31,11/7,12/5) 【C 棟研修室 4】 福祉臨床学特論【大山】 (11/14,11/28,12/12,1/9, 1/16,1/30)
木	家族ケア特論(昼) 【中村由美子】 (10/18,10/25,11/1) 【C 棟研修室 2】	家族ケア特論(昼) 【中村由美子】 (10/18,10/25,11/1, 11/15) 【C 棟研修室 2】	ヘルスサイエンス論(昼) 【嵯峨井】 (11/1,11/15,12/6, 12/20) 【大学院会議室】	ヘルスサイエンス論(昼) 【嵯峨井】 (11/1,11/15,12/6) 【大学院会議室】		家族ケア特論(夜)【中村由美子】 (10/18,10/25,11/1,11/15) 【C 棟研修室 2】 ヘルスサイエンス論(夜)【嵯峨井】 (11/1,11/15,12/6,12/20) 【大学院会議室】 ヒューマンコミュニケーション論【大関】 (11/8,11/29,12/13,1/10) 【C 棟研修室 2】	家族ケア特論(夜)【中村由美子】 (10/18,10/25,11/1) 【C 棟研修室 2】 ヘルスサイエンス論(夜)【嵯峨井】 (11/1,11/15,12/6) 【大学院会議室】 ヒューマンコミュニケーション論【大関】 (11/8,11/29,12/13) 【C 棟研修室 2】
金			人体機能解剖学特論(昼) 【鈴木孝夫】 (10/26,11/9,11/30, 12/7,12/21,1/11, 1/25)【B 棟 B307】	人体機能解剖学特論(昼) 【鈴木孝夫】 (10/26,11/9,11/30, 12/7,12/21,1/11) 【B 棟 B307】			
土	家族社会学特論【樋口】 (10/27,11/10,11/17) 【C 棟研修室 4】	家族社会学特論【樋口】 (10/27,11/10,11/17, 12/1) 【C 棟研修室 4】					

< 集中講義予定 >

地域社会学特論【平川】(前期実施済)
社会保障特論【阿部】(10/27土,11/10土,12/1土)【C棟研修室2】
栄養指導論【杉山】(11/9金,11/10土)【大学院会議室】
家族社会学特論【堤】(10/4木,10/5金)【C棟研修室2】
小児家族看護学演習【筒井】(前期実施済)
救急看護学特論【中村恵子】(別途日程調整)
救急・クリティカルケア看護学特論【渡辺孝子】(前期実施済)

- ・土曜日は非常勤講師の講義のみ開講
- ・共通科目：、専門支持科目(必修科目)：
- ・共通科目及び専門支持科目(分野必修科目)の専任教員担当部分は昼夜開講。
ただし、科目毎に昼夜どちらかに整理することもある。
- ・特別研究は、1年次であっても2単位相当分の指導を行う(2年次は6単位相当分)。講義日時は、月～金曜日のうち研究指導教員と院生が相談のうえ決定する。
- ・「小児家族援助実習」は、10月～2月の間に、1日(8時間)/週で10日間(2単位相当分)を行う。
- ・「周産母子援助実習」は、10月～2月の間に、1日(8時間)/週で15日間(3単位相当分)を行う。
- ・諸般の事情により、時間割を変更する場合もある。
- (・教室が明記されていないものについては、各担当教員の個人研究室等で行う。)

時間 曜日	1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:30~18:50	7 19:00~20:20
月					神経病理学特論 (吉村) (7/23) 【C棟研修室 2】	神経病理学特論 (吉村) (4/23,5/14,6/11,6/25,7/9,7/23) 【C棟研修室 2】	神経病理学特論 (吉村) (4/23,5/14,6/11,6/25,7/9,7/23) 【C棟研修室 2】
火						環境保健学演習【嵯峨井・佐藤伸】 看護マネジメント演習 (上泉・那ノウツ) 高齢者・リハビリテーション看護学演習 (石鍋) 小児ヘルスケア演習 (中村由美子) (4/16~7/30 計13回)	環境保健学演習【嵯峨井・佐藤伸】 看護マネジメント演習 (上泉・那ノウツ) 高齢者・リハビリテーション看護学演習 (石鍋) 小児ヘルスケア演習 (中村由美子) (4/16~7/30 計13回)
水					公衆衛生学特論 (竹森・山中・浅田) (7/11) 【C棟研修室 2】	公衆衛生学特論 (竹森・山中・浅田) (5/9, 5/23, 6/6, 6/13, 6/27,7/11) 【C棟研修室 2】	公衆衛生学特論 (竹森・山中・浅田) (5/9, 5/23, 6/6, 6/13, 6/27, 7/11) 【C棟研修室 2】
木						周産母子看護学特論 (大井・新道) (4/26, 5/17, 5/31, 6/14, 6/28)	周産母子看護学特論 (大井・新道) (4/26, 5/17, 5/31, 6/14, 6/28)
金						看護コンサルテーション (上泉) (5/11, 5/18, 5/25, 6/1) 【C棟研修室 4】	看護コンサルテーション (上泉) (5/11, 5/18, 5/25) 【C棟研修室 4】
土							

< 集中講義予定 >

障害科学特論【内山】(9/14 金, 9/15 土) 【C棟研修室 2】
看護コンサルテーション【ハ・ヌ・ミカ】(6 コマ)
専門看護師論【ハ・ヌ・ミカ】(13 コマ)
周産母子看護学特論【岡野】(6/25 月) 【大学院会議室】

- ・土曜日は非常勤講師の講義のみ開講。
- ・共通科目：、専門支持科目（必修科目）：
- ・共通科目及び専門支持科目（分野必修科目）の専任教員担当部分は昼夜開講。
ただし、科目毎に昼夜どちらかに整理することもある。
- ・特別研究は、2 年次は 6 単位相当分の指導を行う（1 年次は 2 単位相当分）。講義日時は、月～金曜日のうち研究指導教員と院生が相談のうえ決定する。
- ・諸般の事情により、時間割を変更する場合もある。
- ・周産母子援助実習は、1 日（8 時間）/週で 15 日間（3 単位相当分）を行う。
- ・「小児家族援助実習」と「救急・クリティカルケア実習」は、1 日（8 時間）/週で 20 日間（4 単位相当分）を行う。
- （・教室が明記されていないものについては、各担当教員個人研究室で行う。）

大学院

青森県立保健大学大学院博士後期課程 平成 19 年度授業時間割 (1 年次前期配当科目)

時限 曜日	1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:30~18:50	7 19:00~20:20
月						機能性食品栄養学特別講義 【松江・岩井】 環境保健学特別講義 【嵯峨井・佐藤伸】 (5/7, 5/21, 5/28, 6/11, 6/25, 7/9)	機能性食品栄養学特別講義 【松江・岩井】 環境保健学特別講義 【嵯峨井・佐藤伸】 (5/7, 5/21, 5/28, 6/11, 6/25, 7/9, 7/23)
						母子看護学特別講義【大井・新道】 (5/7, 5/21, 5/28)	母子看護学特別講義【大井・新道】 (5/7, 5/21, 5/28, 6/11)
						機能障害・回復学特別講義【福田】 (6/25, 7/9, 7/23) 【大学院会議室】	機能障害・回復学特別講義【福田】 (6/25, 7/9, 7/23) 【大学院会議室】
火						機能障害・回復学特別講義【成田】 (5/8, 5/22, 5/29)	機能障害・回復学特別講義【成田】 (5/8, 5/22, 5/29, 6/12)
水						運動生理学特別講義【尾崎】 (5/9, 5/23, 6/13, 6/27, 7/4)	運動生理学特別講義【尾崎】 (5/9, 5/23, 6/13, 6/27, 7/4)
木	看護学研究法【上泉】(昼) (5/17, 5/31, 6/14) 【C棟研修室2】	看護学研究法【上泉】(昼) (5/17, 5/31, 6/14) 【C棟研修室2】				看護学研究法【上泉】(夜) (5/17, 5/31, 6/14) 【C棟研修室2】 地域保健活動学特別講義【竹森】 (5/10, 6/7, 6/21)	看護学研究法【上泉】(夜) (5/17, 5/31, 6/14) 【C棟研修室2】 地域保健活動学特別講義【竹森】 (5/10, 6/7, 6/21, 6/28)
						地域高齢者保健学特別講義 【佐藤秀紀】 (5/10, 5/24, 6/7, 6/21, 7/5, 7/12)	地域高齢者保健学特別講義 【佐藤秀紀】 (5/10, 5/24, 6/7, 6/21, 7/5, 7/12, 7/26)
金			哲学の人間論【五十嵐】 (6/29) 【C棟研修室2】	哲学の人間論【五十嵐】 (5/11, 6/1, 6/29, 7/13) 【C棟研修室2】	哲学の人間論【五十嵐】 (5/11, 6/1, 6/29, 7/13) 【C棟研修室2】	哲学の人間論【五十嵐】 (5/11, 6/1, 6/29, 7/13) 【C棟研修室2】 生活支援看護学特別講義 【大串・石鍋・中村恵子】 (5/18, 5/25, 6/8, 6/15, 6/22, 7/6)	生活支援看護学特別講義 【大串・石鍋・中村恵子】 (5/18, 5/25, 6/8, 6/15, 6/22, 7/6, 7/13)
土	健康科学論【吉田】 (7/28) 【C棟研修室2】	健康科学論【吉田】 (7/28) 【C棟研修室2】	健康科学論【吉田】 (7/28) 【C棟研修室2】	健康科学論【吉田】 (7/28) 【C棟研修室2】	健康科学論【吉田】 (7/28) 【C棟研修室2】	健康科学論【吉田】 (7/28) 【C棟研修室2】	健康科学論【吉田】 (7/28) 【C棟研修室2】
			健康政策論【北窓】 (7/7, 7/21, 9/1) 【暫定】 【C棟研修室2】	健康政策論【北窓】 (7/7, 7/21, 9/1) 【暫定】 【C棟研修室2】			

・健康政策論【川村】7コマ及び看護マネジメント特別講義については、別途日程を調整する。

< 集中講義予定 >

理論看護学【黒田】(別途日程調整)
健康科学論【石井】(8/1水) 【C棟研修室2】
看護学研究法【中山】(9/3月、9/4火) 【暫定】 【A棟A110教室】
運動生理学特別講義【蔵田】(9/28金、9/29土) 【大学院会議室】
地域保健活動学特別講義【平野】(9/7金、9/8土) 【C棟研修室2】
地域高齢者福祉学特別講義【高山】(9/14金、9/15土)、【芳賀】(9/7金、9/8土) 【大学院会議室】
母子看護学特別講義【筒井】

- ・土曜日は非常勤講師の講義のみ開講。
- ・共通科目：
- ・共通科目の専任教員担当部分は昼夜開講。ただし、科目毎に昼夜どちらかに整理することもある。
- ・諸般の事情により、時間割を変更する場合もある。
- ・専門科目のうち、教室が明記されていないものについては、各担当教員の個人研究室等で行う。

時限 曜日	1 9:00~10:20	2 10:30~11:50	3 12:40~14:00	4 14:10~15:30	5 15:40~17:00	6 17:30~18:50	7 19:00~20:20
月							
火						地域高齢者保健学特別演習 【佐藤秀紀・佐藤秀一】 機能性食品栄養学特別演習 【藤田修三・松江・岩井】 環境保健学特別演習 【嵯峨井・佐藤伸】 (10/16~1/22 計13回)	地域高齢者保健学特別演習 【佐藤秀紀・佐藤秀一】 機能性食品栄養学特別演習 【藤田修三・松江・岩井】 環境保健学特別演習 【嵯峨井・佐藤伸】 (10/16~1/22 計13回)
水							
木						看護マネジメント特別演習 【川村・リョウ・上泉】 生活支援看護学特別演習 【大串・石鍋・中村恵子】 (10/18~1/24 計13回)	看護マネジメント特別演習 【川村・リョウ・上泉】 生活支援看護学特別演習 【大串・石鍋・中村恵子】 (10/18~1/24 計13回)
金						母子看護学特別演習 【大井・新道・中村由美子】 (11/1, 11/8, 11/15, 11/22, 11/29, 12/6)	母子看護学特別演習 【大井・新道・中村由美子】 (11/1, 11/8, 11/15, 11/22, 11/29, 12/6, 12/13)
土							

<集中講義予定>

母子看護学特別演習【山本】

【筒井】

- ・土曜日は非常勤講師の講義のみ開講
- ・諸般の事情により、時間割を変更する場合もある。
- ・専門科目のうち、教室が明記されていないものについては、各担当教員の個人研究室等で行う。

カリキュラム

大学院学則別表（博士前期課程）

授業科目の名称		配当年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
授 業 科 目 の 概 要	共通 科目	研究方法論	1 前	2	} 4 単位必修	
		保健福祉政策学特論	1 前	2		
		統計学	1 前	1		} 2 単位以上選択
		ヘルスサイエンス論	1 後	1		
		ヒューマンコミュニケーション論	1 後	1		
		ケアマネジメント特論	1 前	1		
		カウンセリング特論	1 後	1		
		家族ケア特論	1 後	1		
	専 門 支 持 科 目	在宅ケア論	1 前		2	} 地域保健福祉学分野、 理学療法学分野、生活 健康科学分野は 6 単位 必修、6 単位以上選択 の計 12 単位以上履修
		在宅ケア論	1 前		2	
		地域社会学特論	1 後		2	
		家族社会学特論	1 後		2	
		社会保障特論	1 後		2	
		地域福祉学特論	1 前		2	
		福祉臨床学特論	1 後		2	} 看護学分野は 2 ~ 6 単 位必修、2 ~ 6 単位以 上選択
		人体機能解剖学特論	1 後		2	
		人体病理学特論	1 前		2	
		神経病理学特論	2 前		2	
		障害科学特論	2 前		2	
		食品栄養学特論	1 前		2	
		栄養指導論	1 後		2	
		臨床栄養学特論	1 後		2	
		公衆衛生学特論	2 前		2	
		生活環境科学特論	1 前		2	
		看護管理学	1 後		2	
		看護コンサルテーション	2 前		2	
看護倫理学	1 前		2			
アドバンスト・ヘルスアセスメント	1 前		2			
専門看護師論	2 前		2			
臨床薬理学特論	1 前		2			
国際母子保健学	1 後		2			
看護教育論	1 前		2			
看護理論特論	1 前		2			

授業科目の概要		配当年次	単位数		備 考	
			必修	選択		
授 業 専 門 科 目 の 概 要	地域保健活動領域	地域保健活動学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		地域保健活動学演習	2 前	2		
		特別研究	2	8		8 単位必修
	精神保健学領域	精神保健学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		精神保健学演習	2 前	2		
		特別研究	2	8		8 単位必修
	地域高齢者福祉学領域	地域高齢者福祉学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		地域高齢者福祉学演習	2 前	2		
		特別研究	2	8		8 単位必修
	地域高齢者保健学領域	地域高齢者保健学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		地域高齢者保健学演習	2 前	2		
		特別研究	2	8		8 単位必修
	運動生理学領域	運動生理学コース				
		運動生理学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		運動生理学演習	2 前	2		
	特別研究	2	8	8 単位必修		
	機能形態学コース	機能形態学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		機能形態学演習	2 前	2		
		特別研究	2	8		8 単位必修
	機能障害・回復学領域	機能障害・回復学コース				
		機能障害・回復学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		機能障害・回復学演習	2 前	2		
	特別研究	2	8	8 単位必修		
	リハビリテーション・福祉工学コース	リハビリテーション・福祉工学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		リハビリテーション・福祉工学演習	2 前	2		
		特別研究	2	8		8 単位必修
	健康・栄養ケア領域	健康・栄養ケア特論	1 後	2	} 4 単位必修	
		健康・栄養ケア演習	2 前	2		
		特別研究	2	8		8 単位必修
	食生活科学領域	食生活科学特論	1 後	2	} 4 単位必修	
食生活科学演習		2 前	2			
特別研究		2	8	8 単位必修		
環境保健学領域	環境保健学特論	1 後	2	} 4 単位必修		
	環境保健学演習	2 前	2			
	特別研究	2	8		8 単位必修	
看護教育学領域	看護教育学特論	1 後	2	} 6 単位必修		
	看護学教授法特論	1 後	2			
	看護教育学演習	2 前	2			
	特別研究	2	8		8 単位必修	
看護基礎科学領域	看護基礎科学特論	1 前	2	} 6 単位必修		
	看護基礎科学特論	1 後	2			
	看護基礎科学演習	2 前	2			
	特別研究	2	8		8 単位必修	
看護マネジメント領域	看護組織行動学特論	1 前	2	} 6 単位必修		
	看護システム開発論	1 後	2			
	看護マネジメント演習	2 前	2			
	特別研究	2	8		8 単位必修	

授業科目の名称		配当年次	単位数		備考		
			必修	選択			
授 業 科 目 の 概 要	専 門 学 科 分 野	高齢者・リハビリテーション看護学領域					
		リハビリテーション看護学特論	1前	2		6単位必修	
		高齢者生活支援看護学特論	1前	2			
		高齢者・リハビリテーション看護学演習	1後	1		8単位必修	
		高齢者・リハビリテーション看護学演習	2前	1			
		特別研究	2	8			
		小児家族看護学領域					
		(論文コース)					
		母子家族看護学特論(領域共通)	1前	2		8単位必修	
		小児家族看護学特論	1前	2			
		小児家族看護学特論	2前	2		8単位必修	
		小児家族看護学演習	1後	2			
		特別研究	2	8			
		(CNSコース)					
		母子家族看護学特論(領域共通)	1前	2		14単位必修	
		小児家族看護学特論	1前	2			
		小児家族看護学特論	2前	2			
		小児家族看護学特論	2前	2			
		小児ヘルスケア演習	2前	2			
		小児ヘルスケア演習	2前	2			
		小児家族看護学演習	1後	2		6単位必修	
		小児家族看護学演習	2前	2			
		小児家族援助実習	1後	2			
		小児家族援助実習	2前	4		2単位必修	
		課題研究	2	2			
		周産母子看護学領域					
(論文コース)							
母子家族看護学特論(領域共通)	1前	2		10単位必修			
母性看護学特論	1前	2					
周産母子看護学特論	1後	2		8単位必修			
周産母子看護学特論	2前	2					
周産母子看護学演習	1	2					
特別研究	2	8					
(CNSコース)							
母子家族看護学特論(領域共通)	1前	2		10単位必修			
母性看護学特論	1前	2					
周産母子看護学特論	1後	2		6単位必修			
周産母子看護学特論	2前	2					
周産母子看護学演習	1後	2					
周産母子援助実習	2	6		2単位必修			
課題研究	2	2					
クリティカルケア看護学領域							
(論文コース)							
救急看護学特論	1後	2		10単位必修			
クリティカルケア特論	1前	2					
救急・クリティカルケア看護学特論	1後	2		8単位必修			
救急・クリティカルケア演習	2前	2					
病態/治療管理論	1前	2					
特別研究	2	8					
(CNSコース)							
救急看護学特論	1後	2		10単位必修			
クリティカルケア特論	1前	2					
救急・クリティカルケア看護学特論	1後	2		6単位必修			
救急・クリティカルケア演習	2前	2					
病態/治療管理論	1前	2					
救急・クリティカルケア実習	1後	2		2単位必修			
救急・クリティカルケア実習	2前	4					
課題研究	2	2					

平成20年度大学院（博士前期課程）入学者選抜試験結果

【募集人員20名 志願者数16名 合格者数16名】

（単位：人）

分野・領域・コース	志願者（受験者）数				合格者数			
	一般	社会人	外国人	計	一般	社会人	外国人	計
地域保健福祉学分野	0 (0)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	3 (1)
保健活動学領域		1 (0)		1 (0)		1 (0)		1 (0)
精神保健学領域								
生活支援福祉学領域		1 (1)		1 (1)		1 (1)		1 (1)
生活環境学領域		1 (0)		1 (0)		1 (0)		1 (0)
理学療法学分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
運動生理学領域 （運動生理学コース）								
運動生理学領域 （機能形態学コース）								
機能障害・回復学領域 （機能障害・回復学）								
機能障害・回復学領域 （リハ・福祉工学）								
生活健康科学分野	2 (1)	3 (1)	0 (0)	5 (2)	2 (1)	3 (1)	0 (0)	5 (2)
健康・栄養ケア領域	1 (1)	2 (0)		3 (1)	1 (1)	2 (0)		3 (1)
食生活科学領域	1 (0)	1 (1)		2 (1)	1 (0)	1 (1)		2 (1)
環境保健学領域								
看護学分野	2 (0)	6 (1)	0 (0)	8 (1)	1 (0)	6 (1)	0 (0)	7 (1)
看護教育学領域								
看護基礎科学領域	1 (0)	1 (0)		2 (0)	1 (0)	1 (0)		2 (0)
看護マネジメント領域								
高齢者・リハビリテーション看護学領域								
小児家族看護学領域		3 (0)		3 (0)		3 (0)		3 (0)
周産母子看護学領域								
クリティカルケア看護学領域	1 (0)	2 (1)		3 (1)	0 (0)	2 (1)		2 (1)
合計	4 (1)	12 (3)	0 (0)	16 (4)	3 (1)	12 (3)	0 (0)	15 (4)

（ ）内は男性数

平成20年度大学院（博士後期課程）入学者選抜試験結果

【募集人員4名 志願者・受験者数4名 合格者数4名】

（単位：人）

分 野	志 願 者 数			合 格 者 数		
	一般	社会人	計	一般	社会人	計
地 域 保 健 福 祉 学 分 野						
理 学 療 法 学 分 野						
生 活 健 康 科 学 分 野		1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)
看 護 学 分 野		3 (1)	3 (1)		3 (1)	3 (1)
合 計		4 (2)	4 (2)		4 (2)	4 (2)

（ ）内は男性数

合格者全員入学手続き済み